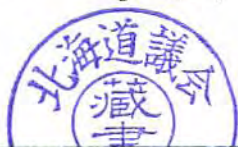


北海道議会時報

第32卷 第3号



昭和55年第1回定例道議会



北海道議会事務局

第1回定例道議会

(表紙写真説明)

カタクリとエゾエンゴサクの群落

北海道の早春を美しい花で彩る多年草の植物。

カタクリは、ユリ科で北海道中部以南、本州、四国、朝鮮半島に分布し、草地、落葉樹林下に生育する。花は紅紫色で下向きに開き、葉は狭卵形で上面に斑紋があり、茎とともに食用となる。また、地下の鱗茎は澱粉を含み、片栗粉として用いられるが、現在はジャガイモから作られたものが多い。

エゾエンゴサクは、ケシ科で北海道、本州に分布し、湿った木陰などに生育する。花は青紫色で茎の先に総状につけ、葉は複葉で線形ないし楕円形の小葉がある。若葉や地下の鬼茎は食用となり、鬼茎は薬用にも利用される。

(写真提供 一道生活環境部環境影響審査課
村野 紀雄氏)

第1回定例道議会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	16
決 議 案 ・ 意 見 案	21
請 願 ・ 陳 情	28

委員会の動き

議会運営委員会	32
常任委員会	41
特別委員会	51
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
有珠山噴火災害対策特別委員会	
石油緊急対策特別委員会	
予算特別委員会	

資 料

第1回定例道議会において議決を経た 条例の公布調	70
-----------------------------	----

3月のメモ

議 会 日 誌

▶ 2 月

- 25日(月) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別、有珠山噴火災害対策特別各委員会
- 26日(火) (第1回定例会閉会)
議会運営委員会
本会議(会期決定<33日間>、特別委員補欠選任、道政執行方針、提案説明、教育行政執行方針、意見案4件可決)

▶ 3 月

- 4日(火) 議会運営委員会
本会議(代表質問<2人>)
- 5日(水) 議会運営委員会
本会議(代表質問)
- 6日(木) 議会運営委員会
本会議(代表質問<2人>)
- 7日(金) 議会運営、総務各委員会
本会議(一般質問<2人>)
- 8日(土) 議会運営委員会
本会議(一般質問)
- 11日(火) 議会運営委員会
本会議(日程延期)
- 12日(水) 議会運営、北方領土対策特別各委員会
本会議(一般質問<2人>、追加提案説明)
- 13日(木) 議会運営委員会
本会議(一般質問<1人>)
- 14日(金) 議会運営委員会
本会議(一般質問<2人>、意見案1件可決)
- 15日(土) 議会運営委員会
本会議(一般質問<3人>)
- 17日(月) 議会運営委員会
本会議(一般質問<1人>)

- 18日(火) 議会運営委員会
本会議(一般質問<1人>)
- 19日(水) 議会運営委員会
本会議(一般質問<2人>)
- 21日(金) 議会運営委員会
本会議(一般質問<2人>、予算特別委員会設置)
予算特別委員会(正副委員長の互選、3分科会設置)、予算第1、第2及び第3各分科会(正副委員長の互選)
- 22日(土) 議会運営、総務、厚生、建設、文教林務各委員会、予算特別委員会(先議案件審査、意見調整)
本会議(日程延期)
- 24日(月) 議会運営委員会
本会議(各委員長報告、補正予算等先議案件可決)
予算各分科会(各部所管審査)
- 25日(火) } 予算各分科会(各部所管審査)
- 26日(水) }
- 27日(木) }
- 28日(金) 議会運営、農務、石油緊急対策特別各委員会、予算各分科会(各部所管審査)
本会議(石油調査終了議決、決議案・意見案各1件可決、請願審査)
- 29日(土) 議会運営委員会、予算各分科会(各部所管審査)
本会議(会期延長)
- 30日(日) 議会運営、各常任、決算特別各委員会、予算特別委員会(総括質疑、意見調整)
本会議(各委員長報告、組み替え動議否決、議案等可決、意見案3件可決、請願審査、請願付託)
(第1回定例会閉会)
- 31日(月) 各常任、公害対策特別各委員会

第1回定例道議会

総額1兆4,874億円余に及ぶ55年度予算成立

▶ 行政改革について論議集中 ◀

概 要

- ① 財政、エネルギー問題など重要課題が山積する80年代に入って初の第1回定例道議会は、2月26日招集され、今期定例会の会期を3月29日までの33日間と決定の後、公害対策特別委員の補欠選任を行い、ついで、行政機構改革実施関連予算を含む総額1兆4,874億円余に及ぶ昭和55年度当初予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から道政執行方針及び提出案件に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明があり、ついで、昭和55年度畜産物価格等に関する要望意見案ほか3意見案を可決して、議案調査のため翌27日から3月3日まで6日間休会した。
- ② 休会明けの3月4日から代表質問に入り、翌5日、行政改革等に係る知事答弁をめぐり議事が中断したが、6日には軌道に乗って代表質問を終結。ついで、7日から一般質問に入り、翌8日、行政改革問題等で再度議事が紛糾し、調整は難航したが、12日に至りようやく審議を再開し、総額398億余の昭和54年度最終補正予算並びにこれに関連する議案等が追加提案され、一般質問を続行。13日には行政改革をめぐり議事が中断したが、14日に審議を再開、北方領土返還の未解決に伴う国内措置に関する要望意見案を可決し一般質問を続行、21日に至りようやく一般質問を終結して、直ちに52人からなる予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、翌22日は付託案件の審議の都合により、日程を延期し延会することに決定し、24日には先議案件の補正予算等に対する各委員長報告の後、討論を行い、起立採決または簡易採決により、各委員長報告のとおり原案可決または承認議決。ついで、各委員会付託議案審査のため3月24日から27日まで4日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、3月21日、正副委員長の互選を行い、3分科会を設置のうえ、翌22日には補正予算等の先議に入り、知事に対する総括質疑を行い、同日質疑を終結して、意見の調整を行ったが、意見の一致をみるに至らず、討論、採決の結果、いずれも原案可決または承認議決と決定。ついで、24日から昭和55年度予算に対する各部所管審議に入り、29日に終結。30日には各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、同日質疑を終結して、意見調整を行ったが、意見の一致をみるに至らず、社会、公明及び共産3党共同による昭和55年度一般会計予算ほか5議案については撤回し、組替えのうえ、再提出し、総合研究開発機構に対する出資の件については撤回を求める動議が提出され、趣旨説明の後、採決に入り、起立採決の結果、これを否決し、いずれも原案のとおり可決することに決定。
- ④ 本会議再開日の28日は、石油類の需給及び価格安定調査の件について、石油緊急対策特別委員会の報告書をもって調査終了することに決定の後、昭和55年度加工原料乳保証価格等に関する要望決議案並びにスモン患者の早期救済に関する要望意見案を可決し、引き続き、請願審査の件について、委員会決定のとおり2件を採択と決定。ついで、29日は、各委員会審議などの都合により、会期を30日まで1日間延長することに決定し、3月30日は休日であるが会議を開くこととした。
- ⑤ 会期最終日の30日（日曜）は、あらかじめ会議時間を延長のうえ、夜に至り本会議を再開し、昭和55年度当初予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託議案に対する各委員長報告の後、社会、公明及び共産3党共同提出に係る昭和55年度一般会計予算ほか5議案については撤回し、組替えのうえ、

再提出を求めるとともに、北海道立体育センター条例案ほか31議案については撤回を求める動議に関する趣旨説明があり、討論に入り、起立採決の結果、これを否決し、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

ついで、農業改良普及事業に関する要望意見案ほか2意見案を可決し、請願審査の件について、委員会決定のとおり2件を採択と決定の後、請願の特別委員会付託を行い、議案第70号北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例案及び前会より継続審査中の報告第1号北海道各会計歳入歳出決算の閉会中継続審査並びに閉会申請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、議案第70号並びに前会より継続審査中の報告第1号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来34日目の3月30日午後10時39分閉会した。

⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況					計
		原案可決	否 決	承認議決	継続審査	報告のみ	
知 事	113	108	0	2	1 (1)	2	113 (1)
議 員	11	10	1	0	0	0	11
計	124	118	1	2	1 (1)	2	124 (1)

注 かつこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

○2月26日（火） 午前10時11分開議、西尾六七議長、昭和55年第1回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告（議会運営委員の変更指名、公害対策特別委員の辞任許可など）の後、議長から、元道議会議員石崎金作氏（1月8日）、同藤枝義見氏（1月12日）、同千葉軍治氏（2月4日）の逝去について弓意を表した旨を報告。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から3月29日までの33日間と決定。次に、

日程第3 特別委員補欠選任の件を議題とし、伊藤豪議員（道政）を公害対策特別委員に補欠選任することに異議なく決定。次に、

日程第4 議案第1号ないし第86号を議題とし、知事から道政執行方針及び提出議案に関する説明並びに教育長から教育行政執行方針に関する説明。次に、

日程第5 意見案第1号ないし第4号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

ついで、議案調査のため2月27日から3月3日まで6日間休会、3月4日再開することに決定して、午前11時22分散会。

○3月4日（火） 午前10時13分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第86号を議題とし、代表質問に入り、

若狭 靖議員（自民）から、

① 80年代における道政の諸課題に関し、道政の推進にあたっての道職員の意識改革に対する考え方、公共施設の地方分散についての所見、今後の財政環境の見通しと道財政運営の考え方、施策の選択及び事業効果の検討機能の強化、今回の行政改革の基本的な考え方とその効果及び道民の理解を求めるための方策、国鉄地方交通線の確保についての国への働きかけ、石油代替エネルギーの開発促進に係る共和・泊原発の見通し、道内炭の生産拡

大対策及び海外炭の導入方策、省エネルギー対策としての石炭ボイラー等の研究開発の推進、道保健医療基本計画の年次計画策定の考え、国立医科大学誘致の取り組み

② 物価対策に関し、物価情勢に伴う低所得者の安定生活の確保、冬野菜の確保と価格安定対策

③ 農業問題に関し、本道農業の役割りと発展方向及び国への働きかけ方、本道稲作の将来見通しと道の取り組み姿勢、余乳処理の対策と生乳計画生産との関連、酪農負債に対する金融対策、過剰乳製品の解消、55年度保証乳価等についての考え方

④ 水産問題に関し、韓国漁船の操業問題解決のための漁業水域法の早期適用に対する取り組み方、秋サケ資源の管理型漁業の確立、道漁連再建に対する取り組み姿勢

⑤ 林業の振興に関し、森林資源の造成と木材の有効利用に対する取り組み、森林組合の振興策

⑥ 中小企業の育成と雇用対策に関し、中小企業の経営体質の強化策、地元中小建設業の経営健全化に対する具体的取り組み、季節労働者の雇用対策

⑦ 特別生活資金貸付制度の利用見通しと今後の対策

⑧ 公安問題に関し、北方領土におけるソ連の軍事基地化及びレボ船事件等に伴う本道の公安の維持と取り締りの強化及び道民生活の安全確保に対する取り組み

⑨ 国体誘致に関し、完全国体の会場選定に対する考え方、関係市町村の財政負担についての配慮、本道選手の強化策と指導者養成についての方策

⑩ 教育問題に関し、道教育長期総合計画の前期実施計画における実績と今後の見通し及び後期実施計画策定の基本姿勢と今後のスケジュール、高等学校の新設計画についての検討状況、石狩南・北学区の中卒者の見通しと高校新設の必要数、道立高校の改築計画の進め方、教職員のストライキに対する今後の措置方針

⑪ 北方領土問題に関し、領土返還に取り組む知事の決意、根室地域振興のための特別措置

及び旧漁業権の補償措置の実現についての国への働きかけ等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時41分休憩、午後1時53分再開。ついで、

中田 繁夫議員（社会）から、

- ① 行政改革に関し、道政執行にあたって民間の経営感覚等を導入することの具体化、今回の改革に対する反対意見等の実態、改革によって道民が受ける利益、改革案の提案にあたっての関係市町村等との対応状況と知事の基本姿勢、今回の改革案を撤回する考え
- ② 経済問題に関し、明年度の本道の経済見通しと景気動向及び物価対策の方向
- ③ 財政問題に関し、今後の予算編成についての考え方、56・57年度の道財政の見通し、使用料等の引上げについての考え方
- ④ 開発問題に関し、経済、資源・エネルギー情勢の変化に伴う道発展計画の見直し等についての所見、石油化学の立地見通し、苫東開発基本計画の見直しの必要性、発展計画における農業の開発指標と石炭生産目標の達成についての取り組み姿勢、国鉄地方交通線の廃止に伴う本道への影響、地域開発、流通体系との関連における国鉄利用の考え方及び国への働きかけ方、石炭利用コンビナートの建設の検討方
- ⑤ 農業問題に関し、北海道農業検討会に臨む知事の基本姿勢、農相に対する親書の評価、国の第2期水田利用再編対策についての知事の対応姿勢、転作目標面積の支庁別配分についての考え方と水田の排水条件整備との関連、農家に対する資金の特別措置、余乳についての受けとめ方と55年度の対策、乳製品の過剰実態との関連における酪農対策の考え方、保育園児への牛乳給食についての道費助成の拡大、道産冬野菜の自給率向上に対する考え方
- ⑥ 水産問題に関し、韓国漁船の操業問題に対する関係漁業者の動向についての認識と知事の対処方針、道漁連不祥事件の根本的な原因と水産庁及び道の指導、監督上の問題点、道漁連の再建についての指導方針
- ⑦ 福祉問題に関し、今回の福祉部門の機構改革についての基本的な考え方と再検討の必要

性、特別生活資金貸付制度に対する評価と福祉灯油制度に移行する考え

- ⑧ 医療問題に関し、北海道保健医療基本計画の受けとめ方、地域医療に係る基幹病院の機能拡充、道立病院の町への移管に対する関係住民等の意見尊重方、北海道老人福祉対策推進委員会における老人対策の検討経過と基本方向
- ⑨ 中高年齢者の雇用問題に関し、本道の定年延長の実態、労働市場の見通しと雇用対策、本道の求人倍率の全国水準以下の要因
- ⑩ 教育問題に関し、本道教育の実態と教育財政計画策定の必要性、国際人権規約の批准承認に係る無償教育の導入についての所見、高校授業料についての基本的な考え方、本道高等教育の問題点、大学等の開設計画の把握状況、高等教育拡充整備促進協議会の検討状況、学園都市構想についての取り組み、学級編制基準の改正についての教育長の見解と国に対する働きかけ方、主任手当に係る予算措置の再考方、障害児の高等部進学率と受験倍率、障害児の多様化に対応するための高等部の拡充策、精薄養護学校高等部校の開校時期を変更する理由と今後の設置計画、未就学者の就学措置、厚生省の自閉症児対策に係る道教委の取り組み方針
- ⑪ 警察問題に関し、未解決凶悪事件に取り組む警察本部の決意と今後の方針、アヘン取締法違反者の急増原因と対策、覚せい剤事犯の現状と対策、交通事故抑止体制の強化等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。中田繁夫議員（社会）から再質問、あらかじめ会議時間を延長し、午後5時19分延会。

○3月5日（水） 午前10時18分開議、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員林利博氏の逝去（3月3日）について弔意を表した旨を報告。次に、

日程第1 議案第1号ないし第86号を議題とし、代表質問を継続、

知事から、昨日の本会議における中田繁夫議員（社会）の再質問に対する答弁の後、保格博夫議員（社会）から議事録精査を求める旨の議

事進行発言があって、午前10時39分休憩、午後4時45分再開し、直ちに延会。

○3月6日(木) 午前11時6分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第86号を議題とし、代表質問を継続、知事及び教育長から中田繁夫議員(社会)の再質問に対する答弁の後、中田繁夫議員(社会)から、再再質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午前11時44分休憩、午後1時9分再開。ついで、

湯田 倉治議員(道政)から、

- ① 行政改革に関し、機構の再編に取り組む基本理念、事務事業の見直しと省力化に対する所見、本庁と支庁、道と市町村との事務配分の見直し
- ② 道職員の服務等に関し、スト参加者に対する賃金カットのあり方、庁舎内のピラ張り行為に対する措置と守衛の業務、勤務時間内の組合活動に対する規律保持
- ③ 道発展計画に関し、計画の推進状況、計画見直しに対する考え方
- ④ 韓国漁船の操業問題に関し、漁具被害及び休業等に対する救済措置についての国への働きかけ
- ⑤ 積寒給付金制度に関し、中小企業等協同組合法に基づく企業組合の職業講習会が特定政党に利用されている事実の把握と今後の指導
- ⑥ 福祉対策に関し、身障者雇用率が低い原因と雇用促進対策、身障者の就職促進のための総合施設設置の考え、道立病院に老人病床を設置等高齢化社会に対応する医療の充実
- ⑦ スポーツ振興対策に関し、国体開催に伴う運動公園の建設の設置場所、モスクワオリンピック参加に対する知事の所見等について

質問があり、知事から答弁、湯田倉治議員(道政)から再質問、知事から答弁。議事進行の都合により、午後2時48分休憩、午後3時19分再開。ついで、

浅野 俊一議員(公明)から、

- ① 道政執行及び財政問題に関し、知事の道政執行の基本姿勢、55年度予算の基本的な考え方、最近の決算収支と予算編成のあり方、道財政の中・長期見通し
- ② 行政改革に関し、行政改革を行うにあつ

ての基本的な考え方、本庁の把大化の抑止、支庁の権限強化と再配置、市町村への権限移譲

- ③ 開発問題に関し、稚内空港の整備、離島、辺地航空路線の確保、国鉄地方交通線の存続
- ④ 中小企業対策に関し、中小企業に対する信用保証制度の拡充、強化
- ⑤ 冬野菜の確保に関し、出荷奨励金の増額と品目の拡大
- ⑥ 福祉問題に関し、寝たきり老人、身障者などの介護手当の増額
- ⑦ 衛生問題に関し、斃死した牛肉の不正流通に対する受けとめ方と今後の対処策、トリヒナ症に対する検査体制と野性動物肉の提供方法についての今後の措置
- ⑧ 教育問題に関し、有朋高校の存在についての周知徹底及び教育条件の整備、定通教育センターの増設、技能連携教育の充実
- ⑨ 警察行政に関し、警察行政の推進にあつての基本姿勢、警察行政の執行体制と道民の信頼と協力確保等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。浅野俊一議員(公明)から再質問、あらかじめ会議時間を延長し、知事から答弁があって、午後5時5分延会。

○3月7日(金) 午前11時7分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第86号を議題とし、質疑並びに一般質問に入り、

佐々木 利昭議員(自民)から、

- 行政機構の改革に関し、行政改革案の策定の経緯と基本的考え方、全体の機構改革の中での今回の改革案の位置づけ、出先機関を最初に取り上げた理由、行財政運営上の効果、道民サービス低下のおそれの有無、機能分担明確化による効果、新たに設置すべき機構、機関のあり方、総合経済研究所の廃止理由、印刷所の廃止理由と民間利用の考え、税務出張所の統廃合と住民の利便への配慮方、今回の改革案の中で引続き協議するものの具体化の時期、廃止予定の福祉施設の入所者の取扱い、施設の設置時と現時点における情勢変化のとらえ方、民間における機能分担能力の有

無、新しい行政ニーズに対応する先導的役割を要する施設設置の考え、試験研究機関の重点集約化による効果と整備の方策、道立病院の移管に関連するビルド面の方針、2次・3次医療体制の整備計画策定の時期、道立病院移管についての関係町村との協議方等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

舟山 広治議員（社会）から、

- 行政機構改革に関し、今回の改革の目的、財政改革を含む本格的な改革実施の考え、権限移譲の検討状況と問題点の把握及び解決の見通し、本庁管理機構の見直しの考え、道の補助団体・特殊法人等の団体数と補助金額及び整理の考え、今回の改革の進め方、内部検討の十分性、現場の意見の反映方、酪農検査所及びもなみ学園廃止の理由、保健医療基本計画の策定と道立病院移管再検討の考え、基本計画と札幌医大整備計画との関連、北野病院の整備充実、紋別病院のモデル通信医療システムの効果、鬼脇病院の医療の確保、社会福祉施設もなみ学園、和光学園、静和園の廃止等と発展計画との関連並びに従前の議会の審議経過との関連、先駆的、モデル的役割が終わったとする理由、行政と試験研究機関との連携の十分性、総合経済研究所の廃止再検討の考え、試験機関の重点集約化の具体的な内容、北海道農林水産業の展望と位置づけ、試験研究機関に係わる予算措置の充実に対する見解について

質問があり、議事進行の都合により、午後零時10分休憩、午後2時18分再開し、知事から休憩前の舟山広治議員（社会）の質問に対する答弁。舟山広治議員から再質問があり、議事進行の都合により、午後3時4分休憩、午後4時45分再開し、直ちに延会。

- 3月8日（土） 午前10時20分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第86号を議題とし、質疑並びに**一般質問**を継続、

知事から、昨日の本会議における舟山広治議員（社会）の再質問に対する答弁の後、舟山議員から再質問並びに議長に対し判断を求める旨の発言があり、議事進行の都合により、午前

10時48分休憩、午前10時51分再開。知事から、休憩前の舟山議員の再再質問に対する答弁があつて、議事進行の都合により、午前10時58分休憩、午後4時41分再開、議案調査のため3月10日は休会することに決定して、直ちに延会。

- 3月11日（火） 午後4時40分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時41分休憩、午後6時46分再開、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し、延会することに決定して、午後6時47分延会。

- 3月12日（水） 午後1時7分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第86号を議題とし、質疑並びに**一般質問**を継続、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、舟山広治議員（社会）から意見及び要望、議事進行の都合により、日程第1の議事を中止。ついで、日程に追加し、議案第87号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とすることをはかり、異議なく決定の後、

追加日程 議案第87号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、知事から追加提案説明。ついで、

日程第1にあわせ追加日程を一括議題とし、議事を継続、

川崎 守議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、ポンテシオ発電所を道営で行う理由、婦人行動計画の実績報告方、婦人の差別的退職制度の是正に対する企業への指導、役職等への登用の拡充、婦人相談所の拡充整備、青少年の非行化の要因と対策、北方領土返還に対する基本姿勢、サンフランシスコ平和条約2条C項2で放棄した千島列島の解釈と4島一括返還要求の考え方との関連、日ソ平和条約の重要課題についての見解、道教委発行の教育指導資料「北方領土」の領土解釈に係る諸外国の反応及び資料略図における北方領土等の名称の用い方、食糧費、交際費の適正執行に取り組む姿勢と具体的な対策、特別生活資金貸付金の償還免除について全道労協との協議事実の有無
- ② 行政改革に関し、今回の機構改革案の撤回

方、今回の改革について関係諸団体の賛成を得たもの、水産試験場の機構改革の具体的な整備計画及び重点集約化に伴う地域への対応のしかた、網走水試の加工部門の廃止との関連における紋別分場の整備及び加工部門集約の理由、コンブ検査業務の廃止に対する各漁協の態度、重点集約化と行政需要及び地域発展との関係

- ③ 農業問題に関し、本道農民が抱える難局の打開策、本道農業の方向づけ、本道出身大臣に対する評価
- ④ 公共工事に関し、公共工事に係る下請代金、労賃未払い問題に対する認識と道の指導状況、下請負人の保護、育成等に係る行政指導の内容及び体制の強化、道の紛争処理体制の強化、違反業者に対する厳正な措置
- ⑤ 原発問題に関し、奥尻町における原発使用済み燃料の再処理工場建設誘致運動についての認識と誘致運動の背景及び関係団体等に説明を求める考え、町長からの相談内容、誘致に対する知事の基本的な考え方
- ⑥ 教育問題に関し、私学助成の拡充と生徒納付金の引き上げの抑制及び学級定員の改善に対する見解、道立高校の授業料引き上げについての知事の基本姿勢、国立高校の授業料との比較、授業料の減免対象の拡大に対する教育長の見解、遠距離通学生の実態把握と通学費についての援助措置、公立高校の入学選抜の改善についての実施時期等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。川崎守議員(共産)から再質問、知事及び教育長から答弁。川崎議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、川崎議員から質問、知事から答弁。議事進行の都合により、午後3時48分休憩、午後4時31分再開。知事から休憩前の川崎議員の質問に対する補足答弁の後、あらかじめ会議時間を延長し、

土屋 良三議員(自民)から、

- ① 企業誘致対策に関し、今後の企業誘致施策、空知中核工業団地の位置づけと業種の選定、配置についての見解
- ② 石炭問題に関し、石炭政策の抜本的見直しについて国への働きかけ、新鉱開発の促進策について国へ要請方、国内炭の価格設定に対

する所見、産炭地域振興臨時措置法の期間延長の重要性

- ③ 通年雇用対策に関し、積寒給付金制度の運用についての指導の強化、制度改善について国へ意見具申する考え
 - ④ ボランティア活動の推進に関し、ボランティアの活動の場及び研修機会の拡大についての配慮方、グループ相互間の連携強化に対する考え方、社会教育推進指導員の活用促進に対する道教委の取り組み、社会教育ボランティアの研修会の拡充強化等について
- 質問があり、知事及び教育長から答弁があって、午後5時6分延会。

○3月13日(木) 午前10時12分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

神本 三也議員(社会)から、

- ① 畑作問題に関し、農政の基本的な考え方、砂糖売り戻し特例法の失効に伴うてん菜の生産振興と関連産業に与える影響及び対処策、てん菜の作付見通しと生産振興策、製糖工場の原料受け入れ、処理体制の向上策、小麦の作付に対する今後の方針と関連機械施設の十分性、道産小麦の品種改良と流通対策
- ② 酪農問題に関し、55年度の乳価と限度数量の設定についての道の対処方針及び計画生産に対する取り組み、国の酪農近代化基本方針における本道酪農の役割りと位置づけに対する所見及び国への働きかけ方
- ③ 農業改良普及事業に関し、普及事業の体制についての所見、普及指導の強化策
- ④ 農業者の健康管理に関し、農業者の健康についての実態把握と維持管理に対する取り組み
- ⑤ 農業試験場の整備に関し、10か年整備計画の前期計画が本年度中に策定されない理由、農業試験場の整備の基本方針と今回の行政改革との矛盾、酪農検査所の廃止の基本的な考えと行財政効果等について

質問があり、知事から答弁。神本三也議員(社会)から再質問、議事進行の都合により、午前11時11分休

憩、午後2時38分再開、知事から休憩前の神本議員の再質問に対する答弁の後、保格博夫議員（社会）から答弁内容を確認したいので休憩されたい旨の議事進行発言があって、午後2時58分休憩、午後4時40分再開、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時41分休憩、午後7時再開して、直ちに延会。

○3月14日（金） 午前11時4分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

神本三也議員（社会）から再再質問、知事から答弁、議事進行の都合により、日程第1の議事を中止。諸般の報告の後、日程に追加し、意見案第5号を議題とすることをはかり、異議なく決定の後、

追加日程 意見案第5号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。ついで、日程第1の議事を継続、

輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 過疎問題に関し、本道の過疎の現況に対する認識と人口減少率が高いことの主な原因、人口減少傾向の抑止策、道過疎地域振興方針に基づく過疎地域に対する施策の成果と反省点、新過疎法に関連する今後の重点施策、過疎地域市町村への国庫補助事業の拡大及び道単独事業の実施について取り組む考え
- ② 地域医療問題に関し、僻地医療についての基本的な考え方、北海道保健医療基本計画による僻地医療の確保見通し、道医師対策協会の事業の目的と医師派遣事業の対象拡大、保健婦駐在制度の積極的導入、地域センター病院の指定計画と道の具体的な助成措置等について

質問があり、知事から答弁。輪島幸雄議員（社会）から再質問及び再再質問があり、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後2時39分休憩、午後4時22分再開。あらかじめ会議時間を延長のうえ、知事から休憩前の輪島議員の再再質問に対する補足答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、輪島議員から意見があり、ついで、

勝木 省三議員（道政）から、

① 行政機構に関し、エネルギー対策に係る本庁機構の拡充強化、下水道事業の専掌課設置の考え

② 地場工業の育成振興策に関し、北海道商工業振興審議会の答申に基づく今後の具体的な振興方策、地場資源の利用、加工の研究に対する道の取り組み姿勢、業種別振興指針の策定に当たっての基本的姿勢と方向

③ 労働福祉対策としての勤労者の体育施設の整備促進方

④ 交通事故防止対策に関し、道路整備に伴う用地問題についての道の対処姿勢、大型トラックの事故防止装置の早期改善についての指導方、生活道路などにおける安全確保についての警察本部の具体的方策について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁があって、午後5時14分延会。

○3月15日（土） 午前10時12分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

木本 由孝議員（自民）から、

- ① 本道の冬の開発のための総合的研究機関についての見解
- ② 産業振興と技能労働者の養成に関し、第2次産業の具体的な振興指針と今後の職業訓練のあり方
- ③ スポーツの振興に関し、国体の施設整備計画のスケジュールと施設の活用方策、冬のスポーツを振興するための施設整備及び指導者の養成についての考え方
- ④ 専修学校の振興方策についての協議検討機関設置の考え
- ⑤ 国際障害者年を迎えるに当たっての具体的な取り組み方について

質問があり、知事から答弁。ついで、

岩崎 守男議員（社会）から、

- ① 許認可事務の市町村への権限移譲問題に関し、市町村への照会文書に係る権限移譲の考え方と市町村、各部の意向及び今後の事務の進め方、権限移譲の趣旨と法的根拠及び事務手続、移譲に伴う経費負担のあり方

② 道漁連欠損事件と市場流通の諸問題に関し、道漁連の体質改善に対する行政指導の必要性、逸脱行為の具体的明示、道の指導上の責任及び監督権限との関連、再建に対する道の指導方針とその役割、漁業基本法の制定に対する国への要請方、道漁連役員の責任のとり方、道の対策班の設置目的と作業の実態、道漁連の事業縮小に伴う関係地域経済への影響、地方卸売市場に対する指導監督のあり方、卸売人と買受人の兼営に対する道条例の特例の根拠、冷蔵倉庫の普及に伴う流通上の問題点と運営に対する指導監督の考え方、地方卸売市場の取引の実態把握と指導監督のあり方等について

質問があり、知事から答弁。岩崎守男議員（社会）から再質問、議事進行の都合により、午前11時53分休憩、午後1時50分再開。知事から休憩前の岩崎議員の再質問に対する答弁の後、岩崎議員から再再質問、知事から答弁準備のため、時間を要する旨の発言があって、午後2時16分休憩、午後3時50分再開。知事から休憩前の岩崎議員の再再質問に対する答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、岩崎議員から質疑及び意見があり、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長し、

湯本 芳志議員（社会）から、

- ① 住宅政策に関し、住宅政策の量から質への転換に対する認識及び土地、都市政策との関連性、第3期住宅建設五か年計画の目標未達成に対する見解と知事責任のとり方、道発展計画における建設戸数の見直しの必要性、公住建設ベースの引き上げに対する取り組み方、55年度道営住宅建設戸数の大幅削減の理由、都市再開発事業に対する基本的な取り組み方、宅地の確保及び地価対策についての道の取り組みと国への働きかけ方、公営住宅の床面積の拡大及び家賃補助制度との関連における住宅区分の廃止についての国への働きかけ、単身老人の公営住宅への入居についての法改正の内容と道の対応姿勢、身体障害者用住宅の検討方向と検討機関の有無、道営住宅の建てかえ事業の年次別計画、公営住宅に対する道民の意向把握のための市場調査実施の考え
- ② 道職員の交通事故に係わる損害賠償事案に関し、損害賠償に逸失利益及び介護料、住宅

改造費を含めなかった理由と法的根拠、被害者救済に対する道の姿勢等について質問があり、知事から答弁。湯本芳志議員（社会）から再質問、知事から答弁があって、午後5時20分延会。

○3月17日（月） 午前10時38分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

湯本芳志議員（社会）から再再質問があり、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、湯本議員から意見があり、ついで、

関根 建二議員（社会）から、

- ① 物価対策に関し、物価の現状と今後の見通し、物価対策の基本的方向と具体的施策、公共料金の上昇に伴う道民生活、物価への影響、公共料金の引き上げに関する考え方及び対策、石油製品価格の現状と今後の見通し、冬野菜の供給の確保と価格の安定についての具体的な施策、高校授業料等の改正と物価抑制の考え方との矛盾、今回の高校授業料、各種使用料、手数料の改正による増収額、高校授業料の値上げによる物価、家計への影響
- ② 行政改革と社会福祉施策に関し、福祉に対する基本的理念、福祉部門の機構改革に係る計画性と統廃合の論理的矛盾、公・私立福祉施設の役割り、機能分担と今回の改革との関連、先駆的、モデル的役割りについての判断、民間社会福祉施設の実態と道立施設の民間移管の適否、道民ニーズに対する基本的姿勢と今回の改革に対する関係市町村、団体等の態度との関係、精薄児施設もなみ学園の廃止と自閉症児施設の整備の考え方との関連、社会福祉法人に対する道の指導監査実績と専掌課の設置についての検討状況等について

質問があり、知事から答弁。関根建二議員（社会）から再質問があり、議事進行の都合により、午後零時22分休憩、午後1時52分再開。知事から休憩前の関根議員の再質問に対する答弁の後、関根議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、関根議員（自席）から、議事録

精査のうえ質問を行いたので休憩されたい旨の発言があり、午後2時27分休憩、午後4時43分再開、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時44分休憩、午後6時30分再開。知事から休憩前の関根議員の再再質問に対する補足答弁があって、午後6時36分延会。

○3月18日(火) 午前10時14分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

小田原 要四蔵議員(社会)から、

- ① 地域格差の解消に関し、道内の地域格差の現状認識、道発展計画との関連、地域別発展構想の性格、総合環境圏と広域生活圈等との関連性、札幌市の人口抑制策、出かせぎ者人口の交付税算定上の取扱い
- ② 交通問題に関し、国鉄地方交通線廃止の影響、北海道新幹線建設の効果、過疎地域におけるバス運送事業の一元化、運賃の地域間格差の是正
- ③ 教育問題に関し、幼稚園及び高校の就園・就学率、保育所の充足率の地域間格差解消、市町村が高校を設置することの当否、道立移管条件の妥当性、地域の文化的役割を考慮した高校施設の整備、高校授業料についての考え方、高校生の通学費に対する援助措置の必要性等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。小田原要四蔵議員(社会)から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨の発言があって、議事進行の都合により、午前11時36分休憩、午後1時55分再開、知事及び教育長から休憩前の小田原議員の再質問に対する答弁の後、小田原議員から再再質問、知事及び教育長から答弁。渋谷澄夫議員(社会)から、議事録精査のため休憩されたい旨の議事進行発言があり、午後2時47分休憩、午後4時40分再開、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時41分休憩、午後9時12分再開し、直ちに延会。

○3月19日(水) 午後1時20分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

知事から、昨日の本会議における小田原要四蔵議員(社会)の再再質問に対する補足答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、小田原議員から質疑及び意見があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

萩上 元春議員(社会)から、

- ① 国鉄青函連絡船及び地方交通線問題に関し、函館市、道南地域の経済社会及び青函トンネルの利用方法との関連における青函連絡船の存置についての考え方、本道の国鉄に対する認識と位置づけ、地方交通線の確保についての国鉄との協議状況及び道の具体的な取り組み状況、線区別の廃止反対理由の提示による国への働きかけの必要性、国鉄利用促進に対する所見
- ② 特定不況地域における雇用対策に関し、失業者の救済と雇用創出のための就労事業団の設置及び就労事業の実施に対する見解、地区雇用開発委員会設置の考え、国の高齢者雇用施策としてのシルバー人材センター構想に係る既設高齢者事業団の取扱いと道の対処方針等について

質問があり、知事から答弁。萩上元春議員(社会)から再質問及び再再質問があり、知事から答弁。ついで、

保格 博夫議員(社会)から、

- ① 環境保全問題に関し、合成洗剤による本道の環境汚染の実態、合成洗剤の出回り状況と道機関における使用状況及び今後の対処策、窒素・リンの使用規制に対する考え方と具体的な取り組み方、日高山脈えりも国定公園指定が実現されない理由、公園区域の線引き見直しの理由、公園指定についての今後の見通し
- ② 財政運営問題に関し、54年度公共事業の繰り延べ措置の真意、年度内執行による中小企業対策の必要性、道財政運営についての基本的方針と減債基金の設置等に係る今回の補正予算案との関連、減債基金条例の適用についての検討状況、特別会計等の公債償還の対処策、道税収入の見積りと補正のあり方、今回の行政改革の財政効果、ビルド面の財政計画及びその見通し
- ③ 教育問題に関し、学級編制の改善に対する

道教委の取り組み方、小中学校、特殊教育諸学校の設置基準設定の考えと特別施設の充実促進に対する見解、道内の学校食堂の設置状況と今後の設置計画及び建設についての基本的見解、障害児教育についての基本的な考え方、障害児の実態調査における道教委と文部省との出現率の相違理由、義務教育修了後の教育及び職業訓練に対する構想と後期計画における取り組み方、統合教育の実態と今後の推進方策、障害児の早期発見と実態把握及び社会自立のための体制確立に向けての教育長の決意等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。保格博夫議員（社会）から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨の発言があって、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時10分休憩、午後5時54分再開し、直ちに延会。

○3月21日（金） 午前10時52分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

知事から、19日の本会議における保格博夫議員（社会）の再質問に対する答弁の後、保格議員から再再質問があり、議事進行の都合により、午前11時29分休憩、午後零時47分再開。知事から、休憩前の保格議員の再再質問に対する答弁。議事進行の都合により、午後1時休憩、午後2時6分再開。ついて、

中川 隆之議員（道政）から、

- ① 過疎対策に関し、過疎地域振興に関する新法を目指す方向と対策の内容についての所見、過疎地域の指定除外となる市町村への今後の財政援助策、道単独の過疎地域振興特別対策事業を継続実施する考え、道立病院の移管に伴う現医療従事者の措置、中核的病院の医師の確保、看護職員の養成確保、過疎地域における観光開発の積極的推進
- ② 農業問題に関し、転作にあたっての奨励作物、地域別農業経営指標の作成時期、転作に伴う土地基盤整備の強化、野菜のハウス栽培の奨励と助成制度創設の考え、酪農経営安定施策の推進、55年度乳価並びに限度数量決定

にあたっての決意

- ③ 福祉問題に関し、難病センター設置についての取り組みと今後の進め方、自閉症児を中心とした施設の整備ともなみ学園との関連、年長自閉症児を当該施設の収容対象とする考え等について

質問があり、知事から答弁。ついて、

伊藤 武一議員（公明）から、

- ① エネルギー問題に関し、石油代替エネルギーの導入の具体的方策と実現可能性、クリーンな石油代替エネルギーの開発、省エネルギーを含む需要の根本的な見直しの必要性、石油代替エネルギー開発に取り組む道の体制、道東火発の建設促進と立地点選定に対する考え
- ② 水産問題に関し、資源培養、管理型漁業の推進の必要性、日ソ漁業共同事業への対処策、水産加工業の振興対策
- ③ 道民生活と医療、福祉問題に関し、スモン患者救済対策検討の考え、地方・地域センター病院及び救命救急センター病院指定計画の早期策定、救命救急センター病院運営費補助制度の拡大と道費助成の強化、社会福祉法人及び施設の不祥事の続発に対する指導方針、設立指導に当たっての基本的な考え、法人等の役職員の資質向上対策、社会福祉法人千歳福祉会が経営する鴨寿園の運営問題、国民健康保険制度の見直しの必要性、市町村国保財政に対する道費助成増額並びに高額医療費に対する助成の考え、レセプトの審査点検体制の充実強化
- ④ 教育問題に関し、市町村立小中学校の危険校舎改築に係る耐力度点数の特例措置の昭和56年度以降廃止への対応策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。伊藤武一議員（公明）から再質問、知事から答弁があって、質疑並びに一般質問を終結。ついて、

佐々木利昭議員（自民）から、予算に関する案件について、本議会に52人からなる予算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく決定の後、次の委員を議長指名（配付名簿のとおり）により選任のうえ、議案第1号ないし第18号、第23号、第67

号、第75号ないし第81号、第83号、第84号、第87号ないし第92号、第95号、第96号、報告第3号及び第4号を予算特別委員会に付託した。

次に、残余の案件について、議案第19号、第22号、第24号ないし第27号、第66号、第68号、第70号、第82号、第93号、第94号、第97号及び第108号は総務委員会に、議案第20号、第44号ないし第46号は農務委員会に、議案第21号、第58号ないし第65号、第72号ないし第74号、第98号ないし第100号及び第102号ないし第107号は文教林務委員会に、議案第28号ないし第40号及び第101号は厚生委員会に、議案第41号ないし第43号、第47号、第48号、第69号及び第71号は商工労働委員会に、議案第49号ないし第54号、第85号、第86号及び第109号は建設委員会に、議案第55号ないし第57号は水産委員会にそれぞれ付託した。

○予算特別委員（52人）

小田原要四蔵（社会）	榎林 巖（社会）
青山 章（自民）	木本 由孝（自民）
桜井 外治（自民）	佐々木行雄（自民）
小田部善治（道政）	勝木 省三（道政）
中川 隆之（道政）	土屋 良三（自民）
久田 保（自民）	水岡 薫（自民）
山口 真人（自民）	吉川 貴盛（自民）
関根 建二（社会）	長岡 寅雄（社会）
吉野 之雄（社会）	伊藤 武一（公明）
工藤 啓二（公明）	柳谷 正一（公明）
米村 邦敏（社会）	輪島 幸雄（社会）
岩崎 守男（社会）	渋谷 澄夫（社会）
石崎喜太郎（自民）	岩田 徳弥（自民）
宇川 源吉（自民）	川口 常人（自民）
佐藤 静雄（自民）	高木 繁光（自民）
中崎 昭一（自民）	伊藤 豪（道政）
湯田 倉治（道政）	野村 権作（自民）
平野 明彦（自民）	古川 靖晃（自民）
和田 勝之（自民）	伊藤 知則（自民）
宇野 真平（自民）	小笠原 孝（自民）
工藤万砂美（自民）	笹浪 幸男（自民）
武部 勤（自民）	鈴木 誠二（社会）
舟山 広治（社会）	藤井 虎雄（社会）
本間喜代人（共産）	湯本 芳志（社会）
笠島 保（社会）	阿部恵三男（自民）
作田 政次（自民）	滝沢 勉（自民）

○3月22日（土） 午後4時36分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時36分休憩、午後9時36分再開、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し、延会することに決定して、午後9時37分延会。

○3月24日（月） 午前10時36分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第87号ないし第93号、第95号ないし第108号、報告第3号及び第4号を議題とし、滝沢勉予算特別委員長（自民）から議案第87号ないし第92号、第95号、第96号、報告第3号及び第4号について、舟山広治総務副委員長（社会）から議案第93号、第97号及び第108号について、熊谷克治文教林務委員長（社会）から議案第98号ないし第100号及び第102号ないし第107号について、宇野真平厚生委員長（自民）から議案第101号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、渋谷澄夫議員（社会）から議案第87号及び第91号に関する反対討論、本間喜代人議員（共産）から議案第87号、第91号及び第92号に関する反対討論があって、討論終結。ついで、採決に入り、まず、議案第87号及び第91号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第92号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第88号ないし第90号、第93号、第95号ないし第108号、報告第3号及び第4号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決または承認議決。

次に、各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、異議なく3月25日から3月27日まで2日間休会し、3月28日再開することに決定して、午前10時59分散会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました案件のうち、ただいま議題となりました議案第87号ない

し第92号、第95号、第96号、報告第3号及び第4号につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、3月21日設置され、今次提案にかかわる昭和55年度各会計予算及び関連議案を含め29件並びに昭和54年度各会計補正予算等10件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等について協議いたしました結果、ただいま議題となっております昭和54年度各会計補正予算及び関連議案につきましては、年度末も切迫しておりますことから、これを先議することに決定し、残余の案件につきましては、分科会方式により審査を行うこととし、3分科会の設置を決定した次第であります。

しかして、昭和54年度各会計補正予算及び関連議案につきましては、22日、委員会を開き、慎重に審査を行った次第であります。その質疑の主なものを申し上げますと、

繰越明許費と景気並びに中小企業対策との関連、工業団地会計に対する一般会計からの長期貸し付けと苫東住宅団地のあり方、タマネギの福祉施設等への配付の考え方と稲作転換に伴うタマネギ作付の問題点、釧路土木現業所庁舎等用地取得における農地法との関連及び登記上の諸問題、道税収入の見積り及び道債の発行等財政運営の基本的あり方等にかかわる諸問題、道有財産の処分及び取得における基本的考え方、福祉灯油の市町村における実施状況と特別生活資金の貸付状況及び今後の見通し、道税の増収と収入見積りのあり方、財政運営の中長期計画の必要性と年度間調整等のあり方、道債の追加計上と基金の積み立てのあり方、減債積立金に関して、財政調整基金条例と教育施設整備基金条例との運営上の関連性とそのあり方、奨学金にかかわる補正内容とそのあり方、基金積立金の運用のあり方などがあります。

なお、質疑の過程において保留されました事項につきまして知事に対し質疑が行われたのでありますが、その主なる事項は、財政運営の基本的諸問題、道有財産の処分及びその取得における基本的考え方などの諸問題でありまして、活発な論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件

について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第87号、第91号及び第92号につきましては、意見の一致を見るに至らず、22日の委員会において採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件につきましては、全会一致、議案第88号ないし第90号、第95号及び第96号は、原案可決、報告第3号及び第4号は、承認議決と決定した次第であります。

なお、議案第87号及び第91号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

以上、本委員会において先議をいたしました議案の審査経過と結果を申し上げた次第であります。昭和55年度各会計予算及びこれに関連する議案につきましては、速やかに審査を行い、後日、御報告を申し上げたいと存じます。

以上をもちまして、私の報告を終わります。

○3月28日(金) 午後4時23分開議、諸般の報告の後、

日程第1 石油類の需給及び価格安定調査の件を議題とし、石油緊急対策特別委員会の本件調査は、委員長報告を省略し、配付の委員会報告書をもって終了することに異議なく決定。次に、

日程第2 決議案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第3 意見案第6号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第4 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも委員会決定(採択2件)のとおり決定して、午後4時26分散会。

○3月29日(土) 午後4時36分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を3月30日まで1日間延長することに決定。更に、同日は休日であるが議事の都合により特に会議を開くことを決定して、午後4時38分散会。

○3月30日(日)午後3時39分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後3時40分休憩、午後9時13分再開、諸般の報告(議案の組替え並びに撤回を求める動議の提出など)の後、

日程第1 議案第1号ないし第69号、第71号ないし第86号、第94号及び109号を議題とし、滝沢勉予算特別委員長(自民)から議案第1号ないし第18号、第23号、第67号、第75号ないし第81号、第83号及び第84号について、伊藤知則総務委員長(自民)から議案第19号、第22号、第24号ないし第27号、第66号、第68号、第82号及び第94号について、武部勤農務委員長(自民)から議案第20号及び第44号ないし第46号について、熊谷克治文教林務委員長(社会)から議案第21号、第58号ないし第65号及び第72号ないし第74号について、宇野真平厚生委員長(自民)から議案第28号ないし第40号について、池島信吉商工労働委員長(社会)から議案第41号ないし第43号、第47号、第48号、第69号及び第71号について、水沼徳一郎建設委員長(自民)から議案第49号ないし第54号、第85号、第86号及び第109号について、小笠原孝水産委員長(自民)から議案第55号ないし第57号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、吉田英治議員(社会)ほか35人から提出の議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号及び第15号については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるとともに、議案第21号、第22号、第26号、第27号、第31号、第33号、第34号、第36号、第39号ないし第47号、第49号ないし第53号、第55号ないし第60号、第63号、第65号、第68号及び第76号については撤回を求めるの動議に関する趣旨説明を行い、討論に入り、高木繁光議員(自民)から吉田英治議員ほか35人提出の動議に関する反対討論、工藤啓二議員(公明)から同動議に関する賛成討論、本間喜代人議員(共産)から同動議に関する賛成討論並びに議案第16号ないし第18号、第24号、第69号、第71号に関する反対討論があって討論終結。ついで、採決に入り、まず、吉田英治議員ほか35人提出の動議を議題とし、起立採決の結果、起立少数(自民、道政反対)をもってこれを否決。次に、議案第1号、第2号、第5号、

第12号、第14号、第15号、第21号、第22号、第26号、第27号、第31号、第33号、第34号、第36号、第39号ないし第53号、第55号ないし第60号、第63号、第65号、第68号及び第76号を議題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第109号を議題とし、起立採決の結果、起立多数(社会反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第16号ないし第18号、第24号、第69号及び第71号を議題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第3号、第4号、第6号ないし第11号、第13号、第19号、第20号、第23号、第25号、第28号ないし第30号、第32号、第35号、第37号、第38号、第54号、第61号、第62号、第64号、第66号、第67号、第72号ないし第75号、第77号、第86号及び第94号を議題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決。ついで、

日程第2 意見案第7号ないし第9号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なくいずれも原案のとおり可決。ついで、

日程第3 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも委員会決定(採択2件)のとおり決定。ついで、

日程第4 請願第68号を議題とし、公害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付することに異議なく決定。

次に、閉会中議案第70号並びに前会より継続審査中の報告第1号継続審査の件を議題とし、異議なく総務委員長並びに決算特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査に付することに決定。次に、閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、異議なく各常任委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、議案第70号並びに前会より継続審査中の報告第1号を除き、すべて議了。西尾六七議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後10時39分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、さきに御報告申し上げました先議案件を除く議案第1号ないし第18号、第23号、第67号、第75号ないし第81号、第83号及び第84号の29件につきまして、その審査の経過と結果について御報告を申し上げます。

これらの議案の審査方法につきましては、去る3月21日の委員会におきまして協議の結果、各部所管に対する審査については分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに3分科会を設置し、それぞれの案件を付託いたしました次第であります。

各分科会におきましては、同日、直ちに分科正副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長高木繁光君、副委員長鈴木誠二君、第2分科会は、委員長渋谷澄夫君、副委員長佐藤静雄君、第3分科会は、委員長岩田徳弥君、副委員長岩崎守男君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、24日から各部所管の審査に入り、29日をもって一切の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、昭和55年度一般会計及び特別会計を合わせ、総額1兆4,874億9,500万円余に及ぶ予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたりまして熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして、本日、総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なるものを申し上げますと、

行政改革にかかわる諸問題、札幌医科大学にかかわる諸問題、財政問題についての基本的考え方、福祉タクシーにかかわる諸問題などでありませぬ。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号ない

し第18号及び第76号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、鈴木誠二君外17人から、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号及び第15号につきましては撤回し、組替えのうえ再提出し、議案第76号につきましては撤回されたいとの動議が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号ないし第18号及び第76号につきましては、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、残余の議案第3号、第4号、第6号ないし第11号、第13号、第23号、第67号、第75号、第77号ないし第81号、第83号及び第84号につきましては、全会一致、原案可決と決定いたしました次第であります。

なお、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号、第15号及び第76号につきましては、少数意見が留保されていることを申し添えます。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げた次第であります。委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対しまして、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第1回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 月 日	議 事 結 果
2. 26	1	昭和55年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 30	原案可決
同	2	昭和55年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計予算	同	同	同
同	3	昭和55年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	4	昭和55年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	昭和55年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	同	同	同
同	6	昭和55年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	7	昭和55年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	8	昭和55年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	昭和55年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	10	昭和55年度北海道大麻団地開発事業特別会計予算	同	同	同
同	11	昭和55年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	12	昭和55年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	13	昭和55年度北海道有林野事業会計予算	同	同	同
同	14	昭和55年度北海道北広島団地開発事業会計予算	同	同	同
同	15	昭和55年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	16	昭和55年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	17	昭和55年度北海道工業用水道事業会計予算	同	同	同
同	18	昭和55年度北海道有料道路事業会計予算	同	同	同
同	19	北海道危険動物飼養規制条例案	総 務	同	同
同	20	北海道農業振興審議会条例案	農 務	同	同
同	21	北海道立体育センター条例案	文教林務	同	同
同	22	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	23	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	24	北海道道税事務所設置条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	25	北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	26	北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	27	北海道立野幌森林公園駐車場条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	28	北海道身体障害者総合更生援護施設条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	29	北海道立札幌肢体不自由児総合療育センター使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	30	北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	31	北海道立保育専門学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	32	北海道立病院、療養所及び診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 26	33	北海道委託衛生試験条例の一部を改正する条例案	厚生	3. 30	原案可決
同	34	北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	35	北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	38	北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	39	食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	40	かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	41	北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	42	北海道立工業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	43	北海道立地下資源調査所手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	44	北海道立産業共進会場条例の一部を改正する条例案	農務	同	同
同	45	北海道立農業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	46	北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	47	北海道職業訓練指導員訓練受講料条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	48	北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	49	北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	建設	同	同
同	50	北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	51	北海道沿岸水域の工事取締条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	52	北海道立寒地建築研究所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	53	北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	54	北海道公営住宅条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	55	北海道立漁業研修所条例の一部を改正する条例案	水産	同	同
同	56	北海道立水産孵化場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	57	北海道立水産試験場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	58	北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	59	北海道立林産試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	60	北海道木材業者製材業者合板及び単板業者登録条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	61	北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	62	北海道公立高等学校定時制課程及び通信制課程生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	63	北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	64	北海道立青年の家条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	65	北海道立美術館使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	66	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総務	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 26	67	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	3. 30	原案可決
同	68	北海道公安委員会及び方面公安委員会の行なう許可等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	69	北海道公営企業条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	70	北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例案	総務	同	継続審査
同	71	北海道労政事務所設置条例を廃止する条例案	商工労働	同	原案可決
同	72	北海道からまつ球果集荷等取締条例を廃止する条例案	文教林務	同	同
同	73	北海道緊急造林奨励条例を廃止する条例案	同	同	同
同	74	北海道水源林野道行造林条例を廃止する条例案	同	同	同
同	75	財団法人北方圏交流基金に対する出資の件	予算特別	同	同
同	76	総合研究開発機構に対する出資の件	同	同	同
同	77	石狩東部広域水道企業団に対する出資の件	同	同	同
同	78	社団法人北海道中小企業振興基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	79	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	80	社団法人北海道豆類価格安定基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	81	北海道漁業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	82	室蘭市と登別市との境界変更の件	総務	同	同
同	83	宝くじの発売に関する件	予算特別	同	同
同	84	全国自治宝くじ事務協議会への広島市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更に関する件	同	同	同
同	85	北海道道の路線の認定に関する件	建設	同	同
同	86	財産の処分（建物、岩見沢市東町）に関する件	同	同	同
3. 8	87	昭和54年度北海道一般会計補正予算（第7号）	予算特別	3. 24	同
同	88	昭和54年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第4号）	同	同	同
同	89	昭和54年度北海道有林野事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	90	昭和54年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	91	昭和54年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	92	昭和54年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	93	北海道減債基金条例案	総務	同	同
同	94	北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	同	3. 30	同
同	95	北海道信用保証協会に対する出資の件	予算特別	3. 24	同
同	96	林業信用基金に対する出資の件	同	同	同
同	97	工事請負契約の締結（防災無線電話設備工事（東端末系））に関する件	総務	同	同
同	98	工事請負契約の締結（北海道札幌南陵高等学校新築第2期工事）に関する件	文教林務	同	同
同	99	財産の取得（北海道旭川工業高等学校建設用地）に関する件	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
3. 8	100	財産の取得（北海道岩見沢地区高等養護学校建設用地）に関する件	文教林務	3. 24	原案可決
同	101	財産の取得（北海道立緑ヶ丘病院建設用地）に関する件	厚生	同	同
同	102	財産の取得（北海道伊達高等養護学校建設用地）に関する件	文教林務	同	同
同	103	財産の取得（北海道札幌月寒高等学校ほか7校の学校施設）に関する件	同	同	同
同	104	財産の取得（北海道釧路北高等学校用地及び校舎）に関する件	同	同	同
同	105	財産の取得（建物、北海道函館西高等学校仮校舎）に関する件	同	同	同
同	106	財産の取得（北海道松前高等学校用地）に関する件	同	同	同
同	107	財産の取得（北海道寿都高等学校用地）に関する件	同	同	同
同	108	財産の処分（土地、旭川市西神楽4線5号3番3608）に関する件	総務	同	同
同	109	損害賠償の額の決定に関する件	建設	3. 30	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 26	1	専決処分報告の件〔工事請負契約の変更（昭和53年10月21日議決を経た議案第26号に係るもの）に関する件 2月12日専決処分〕			報告のみ
同	2	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定 1月21日1件、1月24日1件、2月1日2件、2月9日2件、2月12日1件、2月20日4件専決処分）			同
3. 8	3	専決処分報告につき承認を求める件（昭和54年度北海道補正予算 2月25日専決処分）	予算特別	3. 24	承認議決
同	4	専決処分報告につき承認を求める件〔宝くじ発売額の範囲の変更（昭和54年3月6日議決を得た議案第35号に係るもの）に関する件 2月1日専決処分〕	同	同	同

第1回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
3. 28	1	昭和55年度加工原料乳保証価格等に関する要望決議	武部 勤君ほか12人	3. 28	原案可決

意 見 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
2. 26	1	昭和55年度畜産物価格等に関する要望意見書	武部 勤君ほか12人	2. 26	原案可決
同	2	砂糖の価格安定等に関する要望意見書	同	同	同
同	3	国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書	伊藤知則君ほか13人	同	同
同	4	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書	小笠原孝君ほか12人	同	同

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
3. 14	5	北方領土返還の未解決に伴う国内措置に関する要望意見書	北村義和君ほか12人	3. 14	原案可決
3. 28	6	スモン患者の早期救済に関する要望意見書	宇野真平君ほか12人	3. 28	同
3. 30	7	農業改良普及事業に関する要望意見書	武部 勤君ほか12人	3. 30	同
同	8	国鉄青函連絡船の存置に関する要望意見書	伊藤知則君ほか13人	同	同
同	9	新石炭政策の確立のための要望意見書	工藤万砂美君ほか14人	同	同

動 議

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
3. 30	議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号及び第15号については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるとともに、議案第21号、第22号、第26号、第27号、第31号、第33号、第34号、第36号、第39号ないし第47号、第49号ないし第53号、第55号ないし第60号、第63号、第65号、第68号及び第76号については撤回を求めるの動議	吉田英治君ほか35人	3. 30	否 決

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
54.12.11	1	昭和53年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	55. 3.30	継続審査

決 議 案

決議案第1号

(武部勤君ほか12人提出)
3月28日 原案可決

昭和55年度加工原料乳保証価格等に関する要望決議

加工原料乳保証価格等に関する政府の諮問内容は、誠に厳しく、特に限度数量が昭和54年度の枠を下回っていることについて、本道の酪農関係者は、大きな衝撃を受けている。

最近の酪農をめぐる諸情勢は、需給の不均衡から、計画生産を余儀なくされ、加えて、生産諸資材価格の高騰、更には、農畜産物の輸入外圧が強まるなど一層厳しさを増し、生産者が受ける影響は、極めて大きいものがある。

したがって、北海道の酪農、畜産が将来にその展望を開くことができるよう昭和55年度の保証価格については、本道酪農経営の実態を十分勘案し、適正な価格とするとともに、加工原料乳限度数量については、国内自給率を高める観点から、乳製品の輸入を極力抑制し、その枠の拡大等をはかられるよう強く要望する。

右決議する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣

意 見 案

意見案第1号

(武部勤君ほか12人提出)
2月26日 原案可決

昭和55年度畜産物価格等に関する要望意見書

北海道の酪農・畜産は、我が国における重要な生産基地としての役割りを担い、地域経済を支える基幹的な産業として、国際競争にも耐え得る生産性の高い経営の確立に最大の努力を尽くしているところである。

しかしながら、最近の酪農・畜産をめぐる諸情勢は、需給の不均衡から計画生産を余儀なくされ、加えて生産諸資材価格の高騰、さらには農畜産物の輸入外圧が強まるなど、一層厳しさを増し、生産者が受ける影響は極めて大きいものがある。

したがって、北海道の酪農・畜産が将来にその展望を開くことができるよう、左記事項の実現について強く要望する。

記

1. 昭和55年度の畜産物価格について

(1) 適正な加工原料乳保証価格の設定について

加工原料乳保証価格については、本道の酪農が多くの負債を抱え、いまだ経営基盤が脆弱な中で、昭和52年度以降据え置かれ、さらに需給緩和に対処して計画生産に取り組んでいる厳しい実情にあるので、このような本道酪農の実態を十分勘案の上、その安定的な発展が期し得るよう適正な価格を設定すること。

(2) 適正な指定食肉価格の設定等について

本道の肉畜生産は、肉豚の計画生産、肉用牛生産の伸び悩み、さらには配合飼料価格の値上りなど、その生産環境は極めて厳しい実態にあるので、本年度の指定食肉の安定価格の決定に当たっては、肉畜生産の安定的な発展が期し得るよう国内生産の実態に十分配慮し、適正な価格を設定すること。

また、安定基準価格を下回った場合は、速やかに食肉の買上げ等の措置を講ずること。

2. 加工原料乳限度数量枠の拡大について

加工原料乳限度数量の設定に当たっては、乳製品についても極力自給するという基本的観点に立って、輸入規制等の措置により枠の拡大を図るとともに、その配分に当たっては、本道が我が国における最大の加工原料乳地帯としての役割りを果たしている実態を十分勘案の上適切に配分すること。

3. 畜産物の輸入抑制について

畜産物については、国内生産を優先することを基本に、現行の輸入規制措置を強く堅持し、その輸入量が増大することのないよう適切な措置を講ずること。また、擬装乳製品に対する規制についても強力な指導を行うこと。

4. 地域の実態に即した生乳需給調整対策について

生乳需給の早期均衡を図るため、生産者団体が取り組んでいる計画生産が地域の実態に即し効果的に推進できるよう配慮するとともに、その円滑な推進が図られるよう需給調整対策の継続拡充を図ること。

5. ナチュラルチーズ国産化の推進について

今後とも顕著な需要の増大が見込まれているチーズの国産化を図ることは最も緊要な課題の一つであるので、畜産振興事業団による買い入れ、売り渡し方式など、ナチュラルチーズの国産化を推進するための施策を総合的に実施すること。

6. 畜産物の消費拡大対策の強化について

牛乳、乳製品、食肉等の畜産物の需要拡大を推進するための消費拡大対策の充実強化を図ること。特に、飲用牛乳の消費拡大については、現在の飲用牛乳消費拡大特別事業を継続するとともに、保育所等を対象とする内容の拡充を図ること。

また、農山漁村等における需要の拡大を図る有効な手段の一つとして、道内におけるロングライフミルクの常温流通を可能とする措置を講ずること。

7. 金融対策の推進について

本道の酪農は、短期間に経営の近代化が急速に進められてきたことから、多額の負債を抱えており、その償還が農家経済を圧迫している例が少なくない。また、計画生産等需給調整対策の実施により、その度合いが強まるおそれがあるので、既借入金の借りかえなど必要な金融措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第2号

(武部勤君ほか12人提出)
2月26日 原案可決

砂糖の価格安定等に関する要望意見書

てん菜は、北海道畑作農業の基幹作物であり、また、我が国の貴重な甘味資源として生産の拡大が期待されている。

このため、作付奨励等の各種施策を通じて、生産者をはじめ関係者が総力を挙げて生産振興に努めた結果、ようやく定着の兆しが見えるに至った。

しかしながら、てん菜を取り巻く情勢には、なお不安定要素は少なくなく、今後、一層てん菜の生産振興とてん菜糖業の健全な発展を期するためには、砂糖の需給調整措置と適正な価格形成を図ることがきわめて重要であるので、「砂糖の価格安定等に関する法律第5条第1項の規定による売渡しに係る指定糖の売戻しについての臨時特例に関する法律」の延長等適切な措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西尾六七

内閣総理大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第3号

(伊藤知則君ほか13人提出)
2月26日 原案可決

国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書

本道は、土地水資源に恵まれているなど、我が国において最も発展の可能性に富んだ地域であり、今後開発の進展に伴って輸送需要の増加が見込まれ、公共輸送の基幹をなす国鉄の果たす役割は、将来とも大きく、その整備強化が必要とされている。

しかし、政府は、日本国有鉄道経営再建促進特別措置法案を今国会に提出し、このなかで、輸送需要の少ない地方交通線をバス輸送等へ転換することとしているが、鉄道網の過半を地方交通線が占めている本道の実態から、道内諸地域の住民の生活や産業活動に甚大な影響を与えるとともに、地方に過大な負担をかけることが憂慮される。

また、国鉄再建対策の基本は、国の総合交通体系の確立と、国鉄自身による経営改善努力によるべきであり、地方にしわ寄せする考え方には反対である。

よって、政府及び関係当局においては、本道の実情と発展の可能性を考慮され、地方交通線対策については、地域住民の意向を十分汲み取り、一方的にこれを実施しないよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西尾六七

内閣総理大臣、大蔵大臣、運輸大臣 } 各通
自治大臣、北海道開発庁長官 }

意見案第4号

(小笠原孝君ほか12人提出)
2月26日 原案可決

韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書

北海道周辺海域における韓国漁船の操業問題については、これまで再三にわたり、要望意見書をもって、その早期解決を強く訴えてきた。

しかしながら、いまだ、その実現を見るにいたらず本道沿岸漁場においては、依然として韓国大型トロール漁船団が地元漁業者の操業秩序を全く無視して、操業を続けているため、本道漁民は、膨大な漁具被害や休漁等による損害を受けているほか、漁場の破壊や資源の枯渇により、その漁業経営と生活は、窮地にたたさされている。

このため、本道漁民の怒りは、極限に達しており、このまま放置するならば、本道沿岸漁業を破滅に導くばかりでなく、海上デモ等による漁民の実力行使によって重大な国際紛争を惹起しかねない緊迫した事態も予想され、誠に憂慮にたえない。

したがって、政府が韓国に対し、我が国漁業水域法を早急に適用し、韓国漁船問題の解決を図るよう改めて強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
農林水産大臣

意見案第5号

(北村義和君ほか12人提出)
3月14日 原案可決

北方領土返還の未解決に伴う国内措置に関する要望意見書

わが国固有の領土である歯舞群島、色丹島及び国後島、択捉島等の北方領土は、戦後35年目を迎え、その返還の国民世論の高揚にもかかわらず、いまだ納得出来る成果を見るに至っていない。

加えて、この北方領土周辺海域を生産の場とする関係地域の住民は、社会的経済的に甚大な影響を被っており、これ以上の苦しみの重圧に耐えられない実情にある。

よって、政府においては、根室地域のおかれている特殊な事情を洞察し、速かに次の国内救済措置を実現するよう強く要望する。

記

1. 根室地域振興のための特別措置について

根室地域は、ソ連が占拠している北方領土と一衣帯水の間であり、周辺海域は、ソ連の二百海里水域設定と同時に、政府においても、わが国の二百海里海域として線引したにもかかわらず、実質的な行政効果がなく、依然としてだ捕、罰金等の悲劇が繰り返されているところである。

当地域のもっとも重要な産業生産基盤が、このような現状では、地域の経済発展は勿論、住民福祉の向上を期することも至難である。

従って、わが国の戦後処理として残された領土問題の未解決に起因する道東根室地域の振興のため、早期に特別振興措置を講ずるべきである。

2. 北方地域旧漁業権者に対する救済措置について

北方地域の旧漁業権については、その特殊事情から、いまだに補償措置が講ぜられていないが、このことは、新漁業法切り替えの際、本土において実施された補償措置並びに行政権の分離後に、沖繩、小笠原・伊豆諸島等の地域に対し行われた見舞金の措置等と比較して極めて不均衡であるので、旧漁業権者に対する救済措置を早期に実現すべきである。右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
総理府総務長官 }

意見案第6号

(宇野真平君ほか12人提出)
3月28日 原案可決

スモン患者の早期救済に関する要望意見書

国は、スモン問題を早期に解決するため、訴訟を和解により終結することを基本方針として、昭和54年9月15日、患者側と確認書を取り交し、あわせてスモンの恒久対策を講ずることについて患者側と協議することを確約したところであり、現在、各地で和解が進められ、スモン問題は基本的に大きく前進している。

しかしながら、現状においては、和解の進展は必ずしも十分ではなく、患者救済が滞っていることは憂慮にたえない。

よって、国においては、和解の早期実現及び恒久対策の推進について、速やかに所要の措置を講ぜられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
厚生大臣 }

意見案第7号

(武部勤君ほか12人提出)
3月30日 原案可決

農業改良普及事業に関する要望意見書

農業改良普及事業は、昭和23年に制定された農業改良助長法に基づき、国と都道府県の協同事業として発足し、30年余を経過したところであるが、今日の厳しい農業情勢の中において、これまで普及事業の果たした役割りは、きわめて大きなものがある。

しかして、最近、行政改革や補助金整理の一環として農業改良普及事業の維持存続をめぐる情勢が緊迫し、縮小を前提とする行政監察が実施されたことは、本道農業の発展と農家福祉の向上を主なねらいとする普及事業の推進にとって、きわめて遺憾なことである。

今日、普及事業を取り巻く情勢は、地域農業の再編成、優れた農業後継者の育成確保、農村地域社会の連帯感の醸成及び農村生活環境施設の整備など、地域の実態に即して総合的かつ計画的に実施するなど、緊急に対処しなければならない多くの課題を内包している。

よって、国においては、これらの実情を深く考慮され、農業改良普及事業の推進を一層はかるため、定数の確保、指導施設の整備、普及指導体制の強化について、より積極的な措置

を講ぜられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第8号

(伊藤知則君ほか13人提出)
3月30日 原案可決

国鉄青函連絡船の存置に関する要望意見書

国鉄青函連絡船は、本道と本州の基幹的交通手段として本道の発展に大きく貢献してきたが、青函トンネルの開通に伴って国鉄青函連絡船の存置が問題となっている。

国鉄青函連絡船は、地域の住民や産業経済に深いかかわりを有しており、また、今後本道開発の伸展に伴って輸送需要の増加などが見込まれていることから国鉄青函連絡船の果たすべき役割は将来とも大きいものと考えている。

よって、政府並びに関係当局においては、国鉄青函連絡船の果たす役割と機能分担を明確にし、国鉄青函連絡船の存置をはかるとともに、新規需要開発を促進するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、運輸大臣、自治大臣 } 各通
北海道開発庁長官 }

意見案第9号

(工藤万砂美君ほか14人提出)
3月30日 原案可決

新石炭政策の確立のための要望意見書

最近における我が国のエネルギー情勢は、国際的な石油情勢の激変により、深刻の度を加えており、石油消費の節約を図るとともに、石炭など代替エネルギーの開発導入が緊要な課題となっている。

特に、貴重な国産エネルギー資源である石炭の重要性は、益々増大しつつあるので、まず国内における石炭生産が安定、かつ、拡大方向で確保されるとともに、需要の確保、さらには有効活用のための利用技術の研究開発が促進されることが極めて重要である。

従って、国においては、これらの課題に対応する石炭政策の抜本的な見直しを行い、次の事項について特段の措置を講ずる新政策を早期に確立されるよう強く要望する。

記

1. 総合エネルギー政策の中における国内炭の位置づけについて
貴重な国産エネルギー資源である石炭の位置づけをできるだけ高め、エネルギーの安定確保に大きく寄与させること。
2. 安定生産の制度的保障について
 - (1) 現稼行炭鉱周辺開発可能性調査、鉱区再編調整と新区域並びに新鉱の開発を積極的に進めること。

- (2) 生産コストが確保され、再生産が維持される炭価の値上げと基準炭価をできるだけ早期に決定すること。
- (3) 既往の負債による負担を軽減するため「第4次肩代わり」等の措置を講ずること。
- (4) 石炭産業が魅力ある職場とするための投資を促進する対策費の拡充強化を図ること。
3. エネルギー源としての石炭供給の確保について
国内炭優先の原則に立って、増大する需要に対応するための海外炭輸入にあたって、国内炭・海外炭の買い取り、売り渡しを一元的に管理調整する機構を設立すること。
4. 労働力の確保について
石炭鉱業の労働力の確保については、技術系労働力を含め、今後の生産維持に重大な影響をもつものであり早急に対策を樹立すること。
5. 石炭の有効活用促進について
石炭資源を有効に活用するため、ガス化、液化技術の開発を推進し、低品位炭の中小燃焼機器の開発を促進すること。
6. 産炭地域の振興対策について
石炭鉱業の衰退に伴う疲弊が癒えない産炭地域の振興を図るため、施策の見直しを含めて、産炭地域振興臨時措置法の期限（昭和56年11月まで）を延長すること。
右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣 } 各通
北海道開発庁長官

請 願 ・ 陳 情

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
37	美英高等学校校舎改築に関する件	北海道美英高等学校校舎改築促進期成会 会長 大場 嗣	文教林務	継続審査
38	精進川旧河川敷地の払い下げに関する件	クリーンリバー中の島管理組合 理事長 中邑 芳雄	建 設	同
39	月寒川改修に関する件	札幌市豊平区福住1条3丁目72番地 宮地 正郎	同	採 択
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	道立もなみ学園廃止に反対する父母の会 代表 中原 亮ほか1人	厚 生	継続審査
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	道立指導所の縮小統合に反対する父母の会 代表 中野 信義	同	同
42	障害児学校寄宿舎教職員（寮母）の勤務条件改善に関する件	札幌市中央区南3条西12丁目 北海道教育会館 山田 透	文教林務	同
43	全日制普通課程公立高等学校新設に関する件	札幌市白石地区中学校PTA連絡協議会 会長 西 郁郎	同	同
44	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	北海道立和光学園父兄会 会長 菊地 和郎	厚 生	同
45	北海道立養護老人ホーム静和園の廃止案撤回と新築・充実を求める件	北海道立養護老人ホーム静和園を守る会 会長 住友 潔ほか1人	同	同
46	北海道婦人相談所の縮小・移転・併置案の撤回並びに婦人相談所の充実強化に関する件	北海道平和婦人会 会長 三浦 章子ほか17人	同	同
47	薬害スモン恒久対策に関する件	北海道スモンの会 会長 斉藤 政興	同	同
48	薬害スモン患者の早期救済に関する件	同	同	採 択
49	保育所幼児（3～5歳）に生牛乳給食実施のための道費補助に関する件	国際児童年北海道連絡会議 代表 西田 喜代子	同	継続審査
50	道立高校の授業料値上げ反対、父母負担軽減を求める件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 斉藤 敏夫	文教林務	同
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	住民サービスを切り捨てる道庁機構改悪反対北海道共闘会議 議長 南 義夫	厚 生	同
52	道立養護老人ホーム静和園の廃止案の撤回並びに新築、充実を求める件	同	同	同
53	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同	同	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同	同	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同	同	同
56	道立増毛病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同	同	同
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同	同	同
58	北海道立総合経済研究所の廃止提案撤回を求める件	札幌市中央区宮の森1条10丁目553番地 荒又 重雄	総 務	同

文書表番 号	件名	請願者	付託 委員会	審査の 結果
59	網走支庁遠軽税務出張所廃止反対の件	遠軽税務出張所廃止反対共闘会 議長 横川 一雄ほか69人	総務	継続審査
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築、 拡充を要求する件	福祉切り捨てに反対する中央区 共闘会議 議長 四戸 幸雄	厚生	同
61	道立内部障害者更生指導所的美瑛市への移転・縮小・統合に 反対し、現在地での存続、拡充を求める件	道立内部障害者更生指導所縮小 ・移転・統合に反対する会 同窓会会長 高橋 清義	同	同
62	道立婦人相談所の縮小・移転・併置案の撤回並びに婦人相談 所の充実強化を求める件	福祉切り捨てに反対する中央区 共闘会議 議長 四戸 幸雄	同	同
63	道立婦人相談所の縮小併置案の撤回並びに現在地での存続を 求める件	日本婦人会議北海道本部 香取 柳子ほか1人	同	同
64	昭和55年度道立札幌医科大学、看護学校学費値上げ反対の件	札幌医科大学学費・大学関係7 団体・医学書署名推進委員会 代表 平野 浩	総務	同
65	昭和55年度道立札幌医科大学、看護学校学費値上げ反対の件	同	厚生	同
66	月寒川改修に関する件	札幌市豊平区福住1条1丁目10 番地 浅井 清	建設	採択
67	主任手当制度をやめ、その財源を教育条件等の整備に充当す る件	北海道教職員組合 中央執行委員長 大野 直司ほか1人	文教林務	継続審査
68	合成洗剤追放に関する件	札幌市中央区北4条西12丁目 「きれいな水といのちを守る合 成洗剤追放北海道ブロック実行 委員会 代表 対馬 一広	公害対策 特別	同

陳 情

文書表番 号	件名	陳情者	付託 委員会	審査の 結果
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	篠路地域に公立高校新設を希望 する会 代表 松崎 京子	文教林務	継続審査
12	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件（外3件）	㈱日本総合経営研究所 代表取締役 朱田 一雄	総務	同
13	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	豊羽鉱山株式会社 代表取締役社長 藤井 騰	建設	同
14	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	札幌市東区北43条東2丁目 三田 保正	総務	同
15	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	江別市大麻高町10の10 美土路 達雄ほか7人	同	同
16	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件（外4件）	札幌市南区北の沢1716～151 市川 瑞彦	同	同
17	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	余市郡余市町入舟372 石田 昭夫	同	同
18	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	札幌市豊平区中の島2条1丁目 川村 洋司	同	同
19	道立和光学園の廃止反対の件	道立和光学園を守る会 代表 滝野 吉雄ほか9,258人	厚生	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	小樽運河を愛する会 会長 夏堀 正元	建設	同
21	北海道立総合経済研究所の存続の件	江別市幸町2の15 阿部 清昭ほか7人	総務	同
22	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	江別市大麻中町27番地 公団住宅5号棟301号 中原 准一	同	同

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
23	北海道立総合経済研究所の存続の件	江別市文京台25の6 奥野 明ほか1人	総 務	継続審査
24	北海道立総合経済研究所廃止案の再検討の件	札幌市北区北24条西14丁目 方波見 雅夫ほか1人	同	同
25	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	札幌市北区篠路町拓北80の52 大住 芳夫	同	同
26	靖国神社公式参拝に反対の件	宗教法人日本基督教会奈井江教 会 代表役員 土居 辰郎ほか11人	同	同
27	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	札幌郡広島町南町1丁目2の10 佐藤 将博	同	同
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	全国脊髄損傷者連合会道東支部 支部長 門協 東	厚 生	同
29	道立中央農業試験場江別乙りんご試験地存続の件	道立中央農業試験場江別乙りん ご試験地存続対策協議会 会長 滝川市長 吉岡 清栄	農 務	同
30	北海道立総合経済研究所の存続、発展の件	札幌市中央区南8条西4丁目 村岡 範男	総 務	同

② 継続審査中のものであって、第1回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
20	道立釧路養護学校の通学バスの増車を求める件	文教林務	採 択

③ 更に継続審査にされるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
9	伏古3条4丁目交差点の信号機早期設置の件	総 務
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	同
24	登別市に警察署設置の件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
6	札幌市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件	同
33	北海道難病センター設置の早期実現と総合的難病対策確立の件	同
35	看護学生の修学資金増額等に関する件	同
1	苫小牧市錦岡団地（道営住宅）の下水道整備に関する件	建 設
7	生活協同組合市民生協が提出した店舗建設の建築確認申請書の取扱いに関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	文教林務
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
19	養護学校高等部増設に関する件	同
21	道立普通高校建設に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
29	養護学校高等部早期開校の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚生
10	高齢者福祉事業団に対する運営費助成の件	同
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的・石造建築部群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
6	道立高等学校（全日制普通科）の設置に関する件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○2月25日（月） 午後1時39分、議会運営委員会室において開議、午後1時49分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、本日付けをもって、伊藤豪委員（道政）の委員辞任に伴い、議長指名により橋浪蔵議員（道政）が議会運営委員に変更指名された旨を報告。
- ② 委員長から、橋浪蔵議員（道政）の公害対策特別委員辞任に伴う委員の補充については、伊藤豪議員（道政）を補欠選任することを異議なく了承。
- ③ 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 議案調査のため、2月27日から3月3日まで休会することに異議なく決定。
- ⑤ 代表質問の通告は、3月1日正午までとすることを異議なく決定。
- ⑥ 一般質問の順位について、従来例により取り進めることを異議なく決定。なお、今任期中に限り、一定の一般質問における共産党の質問順位は3番目とし、質問時間は概ね25分とすることを異議なく了承。通告は、3月4日正午までとすることに決定。
- ⑦ 予算特別委員会について、構成は52人（自民29人、社会14人、道政5人、公明3人、共産1人）、分科会は3分科会各17人、正副委員長の配分は、本委員会、第1分科会及び第3分科会の委員長は自民、副委員長は社会、第2分科会の委員長は社会、副委員長は自民とすること、なお、設置動議は自民とし、名簿の提出は3月8日正午までとすることを異議なく決定。
- ⑧ 総務、農務及び水産の各委員会において、それぞれ要望意見書の発議が予定されており、提出された場合は、明日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく了承。
- ⑨ HBCの録画撮影の申し出許可について了

承。

○2月26日（火） 午前9時32分、議会運営委員会室において開議、午前9時59分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 意見案第1号ないし第4号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

- 日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告
元議員の逝去報告
- 日程第2 会期決定の件（2月26日から3月29日まで33日間）
- 日程第3 特別委員補欠選任の件
公害対策特別委員橋浪蔵議員の辞任を許可したことに伴い、伊藤豪議員を公害対策特別委員に補欠選任することについて簡易採決
- 日程第4 議案第1号ないし第86号
道政執行方針及び提出議案に関する知事の説明
教育行政執行方針に関する教育長の説明
- 日程第5 意見案第1号ないし第4号
意見案第1号
昭和55年度畜産物価格等に関する要望意見書
意見案第2号
砂糖の価格安定等に関する要望意見書
意見案第3号
国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書
意見案第4号
韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書
（説明及び委員会付託省略）
（採決）

- 1 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決
議案調査のための休会日の決定
(2月27日から3月3日まで)

③ 保格博夫委員(社会)から、行政改革に係る予算並びに条例提案の基本的姿勢に関し、理事者の見解を求める発言があり、委員長、橋浪蔵委員(道政)、石山直行委員(自民)から発言があつて、総務部長から応答。

○3月4日(火) 午前9時30分、議会運営委員会室において開議、午前9時37分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 代表質問の通告(4人)について報告、本日2人、明日2人行うことに異議なく決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第86号
質疑並びに一般質問(代表質問2人)

- ③ 中央折衝のため、農務委員4人の上京について了承。
- ④ 本会議開会予告放送の変更について、事務局長説明のとおり異議なく了承。

○3月5日(水) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後5時18分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員林利博氏(網走支庁選出、第16期、第17期)の逝去(3月3日)について報告。
- ② 一般質問の通告(19人)について報告、順位については従来例によることとし、議事課長から説明のとおり取り進めることに決定。
- ③ 本日の代表質問は、3人行うことに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定、午前9時38分休憩、午後4時35分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

(元議員の逝去報告)

日程第1 議案第1号ないし第86号
質疑並びに一般質問(3人)
(代表質問継続)

- ⑤ 委員長から、休憩前の本会議における保格博夫議員(社会)の議事進行発言について、議事録精査にお時間を要するため、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 石山直行委員(自民)から、議事進行発言に関し、本会議終了後に議運委の再開方発言があり、これをはかつて異議なく了承、午後4時37分休憩、午後4時54分再開。
- ⑦ 石山直行委員(自民)から、議事進行発言について問題提起があり、各委員から発言の後、委員長から、本件については今定例会終了後、効率化小委員会において協議することとし、本日はこの程度にとどめることをはかり異議なく了承。

○3月6日(木) 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午前10時52分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における保格博夫議員(社会)の議事進行発言後の状況について、議事録精査と答弁準備のためなお時間を要する旨発言があり、午前9時42分休憩、午前10時48分再開。
- ② 本日の本会議は、知事の答弁から入ることを異議なく了承。
- ③ 代表質問及び一般質問の通告変更等について、異議なく了承。
- ④ 本日の本会議は、代表質問3人、一般質問5人行うことを異議なく了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第86号
質疑並びに一般質問
(代表質問3人、一般質問5人)

○3月7日(金) 午前9時33分、議会運営委員会
会室において開議、午後4時
39分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ② 一般質問の通告変更について、異議なく了承。
- ③ 本日の一般質問は5人行うことに異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定、午前9時37分休憩、午前10時48分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第86号

質疑並びに一般質問

(一般質問5人)

- ⑤ 総務部長から、答弁準備のため本会議開会が遅れている経過について説明、各委員から発言があり、委員長、総務部長から応答の後、委員長から、理事者に対し、今後このような場合における見通しの的確な把握方について発言、午前11時休憩、午後4時36分再開。
- ⑥ 総務部長から、休憩前の本会議における舟山広治議員(社会)の再質問に対する答弁準備に、なお時間を要する旨の説明があり、委員長から、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり異議なく決定。

○3月8日(土) 午前9時33分、議会運営委員会
会室において開議、午後4時
34分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における舟山広治議員(社会)の再質問に対する答弁準備の状況について説明の後、委員長から本日の本会議は、知事の答弁から入ることをはかり異議なく決定。
- ② 総務部長から、追加提出案件について説明の後、本件については舟山広治議員(社会)の質問終了後、提案説明を行うこと並びに先議案件の先議の日程等については、後日協議

することを異議なく決定。

- ③ 一般質問の通告の取下げを異議なく了承。
- ④ 本日の一般質問は4人行うことに異議なく決定。
- ⑤ 議案調査のため、3月10日(月)は休会し、3月11日再開することを異議なく決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定、午前9時40分休憩、午後4時32分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第86号

質疑並びに一般質問(一般質問
1人)

◎日程第1の議事中止

追加日程 議案第87号ないし第109号、報告第3号及び第4号

追加提出議案に関する知事の説明

◎日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続

質疑並びに一般質問(一般質問
3人)

- ⑦ 委員長から、本会議における舟山広治議員(社会)の議長に対する要請発言の取扱いの状況について報告、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 本日の本会議は、3月10日の休会を決定し、本日予定した追加提出議案に関する知事の提案説明は、11日の本会議で舟山広治議員(社会)の質疑終了後に行うことをはかり、異議なく決定。

○3月11日(火) 午前9時37分、議会運営委員会
会室において開議、午後6時
37分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- 委員長から、3月8日の本会議における舟山広治議員(社会)の議長に対する要請発言の取扱いの状況について報告し、午前9時38分休憩、午後4時30分再開し、委員長から、本件については、まだ結論を得るに至らない旨を報告。本間喜代人オブザーバー(共産)

から発言、委員長から応答の後、取りあえず時間延長することをはかり異議なく了承、午後4時32分休憩、午後6時36分再開。委員長から、本件については、まだ結論を得るに至らないので本日の本会議は日程を延期し延会することをはかり、異議なく決定。

○3月12日(水) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前11時59分散会
委員長 吉田 政一(自民)

① 委員長から、3月8日の本会議における舟山広治議員(社会)の議長に対する要請発言の取扱いについては、まだ結論を得るに至っていない旨を報告、午前9時36分休憩、午前11時50分再開。議長から、本件に関する取扱いについて報告、保格博夫委員(社会)から確認の発言があり、議長から応答。

② 一般質問の今後の進め方について、本日4人、13日5人、14日5人、15日3人の予定で進めることを異議なく決定。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第86号
質疑並びに一般質問(一般質問1人)

◎日程第1の議事中止

追加日程 議案第87号ないし第109号、報告第3号及び第4号
追加提出議案に関する知事の説明

◎日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続
質疑並びに一般質問(一般質問3人)

○3月13日(木) 午前9時34分、議会運営委員会室において開議、午前9時37分散会
委員長 吉田 政一(自民)

① 一般質問の通告内容の変更について異議なく了承。

② 本日の一般質問は、6人行うことに異議なく決定。

③ 中央折衝のため農務委員3人の上京について了承。

④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号
質疑並びに一般質問(一般質問6人)

○3月14日(金) 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午後4時12分散会
委員長 吉田 政一(自民)

① 総務部長から、議案の訂正について発言があり、異議なく了承。

② 意見案第5号について、本日の本会議において、神本三也議員(社会)の質疑終了後議決する扱いとすることを異議なく決定。

③ 委員長から、神本三也議員(社会)の質疑に係わる答弁調整になお若干時間を要する旨報告し、午前9時41分休憩、午前10時50分再開。

④ 本日の本会議は、神本三也議員(社会)の再再質問から入ることに異議なく決定。

⑤ 本日の一般質問は6人行うことに、異議なく決定。

⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定、午前10時54分休憩、午後3時56分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号
質疑並びに一般質問(一般質問1人)

◎日程第1の議事中止

追加日程 意見案第5号
意見案第5号 北方領土返還の未解決に伴う国内措置に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

◎日程第1の議事継続

一般質問(5人)

- ⑦ 総務部長から、休憩前の本会議における輪島幸雄議員(社会)の再質問に対する答弁漏れについて発言、委員長から、理事者に対し注意の後、保格博夫委員(社会)から、本件について議長から理事者に注意をされたい旨の発言があり、各委員、議長及び副議長から発言の後、委員長から理事者に対し厳重注意することを異議なく了承。本会議は知事の補足答弁から入ることを異議なく決定。

○3月15日(土) 午前9時34分、議会運営委員会室において開議、午前9時37分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、一般質問の通告の取下げについて報告。
- ② 一般質問の今後の進め方について、3月17日の月曜日は本会議を開会し、一般質問を行うことを異議なく決定、本日は5人、17日に4人行うことを異議なく決定。
- ③ 中央折衝のため、北方領土対策特別委員3人の上京について了承。
- ④ 北方領土関係問題について政府に要請のため、出納長の17日の本会議欠席を了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号
質疑並びに一般質問(一般質問5人)

○3月17日(月) 午前9時34分、議会運営委員会室において開議、午後6時16分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 一般質問の通告内容の変更について了承。

- ② 本日の一般質問は7人行うことを異議なく了承。

- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前9時38分休憩、午後4時30分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号
質疑並びに一般質問(一般質問7人)

- ④ 休憩前の本会議における関根建二議員(社会)の再再質問に対する答弁の議事録精査のための休憩を求める発言について総務部長から、答弁調整におも時間を要する旨を説明、各委員及び議長から発言の後、取りあえず本会議の時間延長をすることを異議なく決定、午後4時40分休憩、午後6時15分再開。
- ⑤ 総務部長から、関根建二議員(社会)の再再質問に対し改めて答弁したい旨を発言、委員長から、理事者に対し最善を尽くすよう注意の後、本会議を再開し、知事の答弁から入ることとし、本日の本会議は、関根建二議員の質問終了後延会することを異議なく決定。

○3月18日(火) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後4時35分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 本日の一般質問は、5人行うことを異議なく決定。
- ② 委員長から、予算特別委員会について各分科委員の配分結果を報告の後、委員の指名は配付の名簿のとおり指名すること、設置動議は佐々木利昭議員(自民)に提出願うことを了承。
- ③ 補正予算案等の先議について、先議案件は質疑終結後、各関係委員会に付託し、審査終了後、本会議を開き議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号
質疑並びに一般質問(一般質問5人)

○3月19日(水) 午前9時52分、議会運営委員会室において開議、午後5時46分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、昨日の本会議における渋谷澄夫議員(社会)の議事進行発言について、質問者と理事者との対応になお若干時間を要するため取りあえず休憩することをはかり、異議なく了承、午前9時54分休憩、午前11時53分再開。
- ② 総務部長から、答弁準備の状況について発言。
- ③ 委員長から、本日の本会議の議事運営について発言の後、保格博夫議員(社会)から理事者に対し一般質問に係る対応姿勢について意見があり、委員長から今後十分な対応方について発言。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号
質疑並びに一般質問(一般質問5人)

- ⑤ 本会議は、午後1時開会することとし、午後零時休憩、午後5時45分再開。
- ⑥ 委員長から、休憩前の本会議における保格博夫議員(社会)の再質問に対する答弁準備になお相当時間を要するため、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。

○3月21日(金) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会

委員長 吉田 政一(自民)

① 委員長から、3月19日の本会議における保格博夫議員(社会)の再質問に対する知事の答弁準備の状況について報告し、本日の本会議は、知事の答弁から入ることをはかり、異議なく決定。

② 本日の本会議は、一般質問の継続で3人行うこととし、質疑終了後、予算特別委員会を設置し、議案の各委員会付託を行うことに異議なく決定。

③ 先議案件を議決する時期について、後日協議することを異議なく了承。

④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第109号、報告第3号及び第4号
質疑並びに一般質問(一般質問3人)

(質疑終了宣告)

- 予算特別委員会設置
- 予算特別委員の指名
- 議案の各委員会付託

○3月22日(土) 午後4時26分、議会運営委員会室において開議

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託先議案件の審議状況について報告。
- ② 本日の本会議は、取りあえず時間延長することに決定して、午後4時28分休憩。(この後の理事会において本日の本会議は日程を延期し延会することとし、本委員会は再開しないこととした。)

○3月24日(月) 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託先議案件の審議状況について報告の後、総務部長から発言。
- ② 本日の本会議は、議案第109号を除き、議案第87号ないし第93号、第95号ないし第108号の23件を議決することをはかり、異議なく

決定。

- ③ 各委員会付託議案の審査のため、3月25日から27日まで休会し、28日再開することに異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

- 日程第1 議案第87号ないし第93号、第95号ないし第108号、報告第3号及び第4号
予算特別委員長、総務副委員長、文教林務委員長、厚生委員長の報告

(討論)

- 1 渋谷澄夫議員の議案第87号及び第91号に関する反対討論
- 2 本間喜代人議員の議案第87号、第91号及び第92号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1 議案第87号及び第91号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により採決(社会、公明、共産反対)
- 2 議案第92号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決(共産反対)
- 3 議案第88号ないし第90号、第93号、第95号ないし第108号、報告第3号及び第4号を問題とし、委員長報告(議案はすべて可決、報告はすべて承認議決)のとおり決することについて簡易採決

各委員会付託議案審査のための休会の決定

(3月25日から3月27日まで)

○3月28日(金) 午後1時29分、議会運営委員会室において開議、午後4時8分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 予算特別委員長から、分科会における審議状況等について報告。

- ② 委員長から、各常任委員会付託議案の審議状況について報告。

- ③ 委員長から、石油類の需給及び価格安定調査の件について、3月28日の石油緊急対策特別委員会において調査終了した旨報告し、本件については、本日の本会議において委員長報告を省略し、委員会報告書をもって調査終了議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。

- ④ 意見案第6号の取扱いについて、本日の本会議において議決することを異議なく決定。

- ⑤ 委員長から、農務委員長から本日の本会議において決議案を議決願いたい旨申し出があったことを報告し、本件の見通しを得た段階で本会議を開会することをはかり、異議なく了承。午後1時34分休憩、午後4時6分再開。

- ⑥ 決議案第1号の取扱いについて、本日の本会議において議決することに決定。

- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 石油類の需給及び価格安定調査の件

(委員長報告省略)

(採決)

- 1 本件調査を終了することについて簡易採決

日程第2 決議案第1号

決議案第1号 昭和55年度加工原料乳保証価格等に関する要望決議

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第3 意見案第6号

意見案第6号 スモン患者の早期救済に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願審査の件（採択2件）

（委員長報告省略）

（採決）

- 1 本件をいずれも請願審査報告書のとおり決することについて簡易採決

○3月29日（土） 午後1時5分、議会運営委員会室において開議、午後4時20分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告、午後1時6分休憩、午後4時14分再開。
- ② 予算特別委員長から、分科会における審議状況等について報告。
- ③ 今期定例会の会期について、3月30日まで1日間延長することに異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事運営について、明3月30日1日間会期延長を議決し、明日は休日であるが本会議を開くこととし、通常の時刻に開議することを議決した後、散会することをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、予算特別委員会の審議については本日の本会議終了後、引き続き審議願うこととし、各分科会審議は本日中に終了すること及び明日は総括質疑などの審議を進めるよう予算特別委員長に協力要請を行うこととし、各常任委員会等は予算特別委員会終了後開くこととするについてはかり、異議なく了承。

○3月30日（日） 午後3時31分、議会運営委員会室において開議、午後9時5分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ② 取りあえず時間延長することに異議なく決定して、午後3時32分休憩、午後8時59分再開。
- ③ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況並びに総務委員会及び決算特別委員会における継続審査の決定について報告。
- ④ 吉田英治議員（社会）ほか35人提出の議案

の組替え再提出並びに撤回を求める動議について、本日の本会議に上程する扱いとすることに異議なく決定。

- ⑤ 意見案第7号ないし第9号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑥ 請願第68号を公害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査とすることに異議なく決定。
- ⑦ 総務部長から、北海道税条例の一部改正についての専決処分について説明の後、異議なく了承。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第69号、第71号ないし第86号、第94号及び109号

予算特別、総務、農務、文教林務、厚生、商工労働、建設、水産各委員長の報告

吉田英治議員の議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号及び第15号については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるとともに、議案第21号、第22号、第26号、第27号、第31号、第33号、第34号、第36号、第39号ないし第47号、第49号ないし第53号、第55号ないし第60号、第63号、第65号、第68号及び第76号については撤回を求めるの動議に関する説明

（討論）

- 1 高木繁光議員の吉田英治議員ほか35人提出の動議に関する反対討論
- 2 工藤啓二議員の吉田英治議員ほか35人提出の動議に関する賛成討論
- 3 本間喜代人議員の議案第16号ないし第18号、第24号、第69号及び第71号に関する反対討論並びに吉田英治議員ほか35人提出の動議に関する賛成討論

（討論終結宣告）

(採決)

- 1 吉田英治議員ほか35人提出の動議を問題とし、起立により採決

(自民、道政反対)

- 2 議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号、第15号、第21号、第22号、第26号、第27号、第31号、第33号、第34号、第36号、第39号ないし第53号、第55号ないし第60号、第63号、第65号、第68号及び第76号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、起立により採決

(社会、公明、共産反対)

- 3 議案第109号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて、起立により採決(社会反対)

- 4 議案第16号ないし第18号、第24号、第69号及び第71号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、起立により採決

(共産反対)

- 5 議案第3号、第4号、第6号ないし第11号、第13号、第19号、第20号、第23号、第25号、第28号ないし第30号、第32号、第35号、第37号、第38号、第54号、第61号、第62号、第64号、第66号、第67号、第72号ないし第75号、第77号ないし第86号及び第94号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて簡易採決

日程第2 意見案第7号ないし第9号

意見案第7号 農業改良普及事業に関する要望意見書

意見案第8号 国鉄青函連絡船の存置に関する要望意見書

意見案第9号 新石炭政策の確立のための要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第3 請願審査の件

(委員長報告省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも請願審査報告書(すべて採択)のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願第68号

請願第68号 合成洗剤追放に関する件

- 1 本件を公害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付することについて簡易採決

○ 閉会中継続審査の件

総務委員長から議案第70号について、決算特別委員長から、前会より継続審査中の報告第1号について、申し出のとおり閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○ 閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決

(議長の閉会あいさつ)

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○2月25日（月） 午後2時5分、第5委員会室
において開議、午後3時31分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 総務部長から、道の行政改革について説明の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、行政改革に対する反対意見等の受けとめ方と対処策、職員団体との協議状況等

塚本肇委員（社会）から、関係団体と意見一致の有無

中田繁夫委員（社会）から、市町村議会の反対決議に対し関連案件を道議会に提案することの問題点と提案中止の必要性について質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

- ③ 開発調整部長から、国鉄地方交通線対策について説明の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、地方線の確保と新幹線の促進との考え方の矛盾及び経済性、採算性との関連、交通、運輸体系の確立の必要性等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

- ④ 委員長から、国鉄地方交通線の確保についての要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、国鉄地方交通線の確保についての中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○3月7日（金） 午後4時53分、第5委員会室
において開議、午後5時4分

散会

委員長 伊藤 知則（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長及び開発調整部長から、第1回定例会追加提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ② 委員長から、国鉄地方交通線の確保に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○3月22日（土） 午後8時22分、第5委員会室
において開議、午後8時58分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

付託案件の審査

- ① 先議を要する議案第93号（北海道減債基金条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、

中田繁夫委員（社会）から、財源対策債の発行状況と償還計画、基金の管理に当たっての道債買入れの妥当性及び国の指導内容、知事への委任規定の内容、基金の積立予定額及び使用の範囲について質疑があり、総務部長から答弁の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 先議を要する議案第97号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ③ 先議を要する議案第108号（財産の処分に関する件）を議題とし、総務部長から説明の後、

中田繁夫委員（社会）から、旭川医科大学用地の国への売却方法と価格の妥当性及び今後の取り扱いについて

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

○3月30日（日） 午後4時42分、第5委員会室
において開議、午後5時8分
散会

委員長 伊藤 知則（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第19号（北海道危険動物飼養規制条例案）を議題とし、生活環境部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。ついで、
小田原要四蔵委員（社会）から、本委員会における審議の経過にかんがみ、「本条例は危険動物による物理的侵害を防止することを目的としているが、この際、人と動物の共通疾病を予防するための方途について検討すべきである。」との付帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議が提出され、賛成あって動議成立、これをはかって異議なく本動議のとおり決定。
- ② 議案第22号（札幌医科大学条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第24号（北海道道税事務所設置条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第25号（北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案）を議題とし、生活環境部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑤ 議案第26号（北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例案）を議題とし、生活環境部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ⑥ 議案第27号（北海道立野幌森林公園駐車場条例の一部を改正する条例案）を議題とし、生活環境部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ⑦ 議案第66号（北海道警察組織条例の一部を改正する条例案）を議題とし、警察本部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑧ 議案第68号（北海道公安委員会及び方面公安委員会の行なう許可等に関する手数料条例

の一部を改正する条例案）を議題とし、警察本部防犯部長から説明の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、手数料の額の改定の経緯について質疑があり、警察本部防犯部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

- ⑨ 議案第82号（室蘭市と登別市との境界変更の件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑩ 議案第94号（北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑪ 議案第70号（北海道立総合経済研究所条例を廃止する条例案）を議題とし、閉会中継続審査とすることをはかり、異議なく決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、国鉄青函連絡船の存置に関する要望意見案の発議についてははかり、異議なく決定。

○3月31日（月） 午前10時35分、第5委員会室において開議、午前10時39分散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した国鉄地方交通線の確保に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長から、北海道税条例の一部改正の概要と取り扱いについて説明。
- ③ 付託の請願第64号（昭和年55度札幌医科大学、看護学校学費値上げ反対の件）について、議決不要の扱いとすることをはかり異議なく決定。

厚生委員会

○2月25日(月) 午前10時58分、第9委員会室
において開議、午後1時38分
散会
委員長 宇野 真平(自民)

一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第1回定例会
提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ② 民生部長及び衛生部長から、行政改革に係
る経過について報告の後、
保格博夫委員(社会)から、当初計画の変
更の有無、行政改革に対する委員会審議後の
道の対応のあり方等
山家勇委員(社会)から、道立病院の移管
等についての関係市町村の同意の求め方及び
同意を得られない場合の措置等
砂原清治委員(社会)から、和光学園の廃
止の考え方と民間移譲との関連、福祉事業に
対する道行政の基本的なあり方について
質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛
生部長から答弁。
- ③ 衛生部長から、釧路市国島医院の火災事故
について報告の後、
保格博夫委員(社会)から、消防法、医療
法上の問題点の把握状況と事故防止について
の指導のあり方との関連等について
(関連して輪島幸雄委員(社会)から、建築
上の問題点の有無と消防法上の問題点掌握の
必要性について)
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。
- ④ 衛生部長から、麻しん予防接種による幼児
死亡事故の経過と措置について報告。
- ⑤ 衛生部長から、へい死獣肉の不正流通につ
いて報告の後、
保格博夫委員(社会)から、不正流通の情
報入手後の道の措置と調査の充分性、道及び
道警の調査で本事件を解明できなかった理
由、へい死獣肉出荷業者及び関係公社に対す
る指導状況、へい死獣肉の道内の流通実態、
不正流通防止についての指導強化方等につ
いて
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答
弁。

- ⑥ 保格博夫委員(社会)から、(1) 社会福祉
法人迎光会及び迎光園の運営問題に関し、特
別監査の経過、措置費の取扱い上の問題点、
会計処理の実態と内部監査で把握できなかつ
た理由、貸付制度の問題点、運動施設の借上
げ及び寄付金の取扱いの実態、法人の運営、
役員等に対する指導体制のあり方等 (2) ト
リヒナ症による死亡率と行政指導の状況
木下一見委員(道政)から、国際障害者年
に対する道の取り組み方について
質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛
生部長から答弁。

本日聴取した陳情

北海道婦人相談所の縮小移転、併置案の撤
回並びに婦人相談所の充実強化に関する件
北海道平和婦人会会長

○3月22日(土) 午後8時12分、第9委員会室
において開議、午後8時17分
散会
委員長 宇野 真平(自民)

付託案件の審査

- 先議を要する議案第101号(財産の取得に
関する件)を議題とし、衛生部長から説明の
後、異議なく原案のとおり可決することに決
定。先議案件に対する委員長報告について
は、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請 願

第48号 薬害スモン患者の早期救済に関す
る件 (採択)

一般議事

- 委員長から、スモン患者の早期救済につ
いて、配付の案文により要望意見案を発議す
ることをはかり、異議なく決定。

○3月30日(日) 午後4時25分、第9委員会室
において開議、午後4時34分
散会
委員長 宇野 真平(自民)

付託案件の審査

- 議案第28号(北海道身体障害者総合更生援
護施設条例の一部を改正する条例案)、議案

第29号（北海道立札幌肢体不自由児総合療育センター使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案）、議案第30号（北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）、議案第31号（北海道立保育専門学院条例の一部を改正する条例案）、議案第32号（北海道立病院、療養所及び診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案）、議案第33号（北海道委託衛生試験条例の一部を改正する条例案）、議案第34号（北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案）、議案第35号（北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）、議案第36号（北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案）、議案第37号（北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）、議案第38号（北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）、議案第39号（食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案）、議案第40号（かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、民生部長及び衛生部長からそれぞれ説明の後、採決に入り、まず議案第31号、第33号、第34号、第36号、第39号及び第40号を問題とし、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。次に議案第28号ないし第30号、第32号、第35号、第37号及び第38号を問題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 3月31日（月） 午前10時37分、第9委員会室において開議、午前10時46分散会

委員長 宇野 真平（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道外における

民生・衛生関係施設等の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 委員長から、スモン患者の早期救済に関する要望のため中央折衝を実施することについては、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ③ 衛生部長から、麻しんの予防接種による幼児死亡事故の経過と措置及びへい死獣肉の不正流通のその後の経過について報告。

商工労働委員会

○ 2月25日（月） 午前10時39分、第8委員会室において開議、午前11時28分散会

委員長 池島 信吉（社会）

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道内における商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 労働部長及び商工観光部長から、行政改革の概要について報告。
- ③ 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第1回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

○ 3月30日（日） 午後4時13分、第8委員会室において開議、午後4時34分散会

委員長 池島 信吉（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第69号（北海道公営企業条例の一部を改正する条例案）を議題とし、企業局長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第71号（北海道労政事務所設置条例を廃止する条例案）を議題とし、労働部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。ついて、

樫林巖委員（社会）から、議案第71号の審議経過にかんがみ、「小樽労政事務所を後志

支庁の小樽商工労働事務所に改組するにあたっては、従来、労政事務所が行って来た労使に対する指導、相談業務等はもちろん、新たに設けられる商工業者に対する指導、経営診断、相談業務等その機能が十分発揮されるよう配慮すべきである。」との附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議が提出され、賛成があって動議成立、これをはかって、異議なく本動議のとおり決定。

- ③ 議案第41号（北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案）、議案第42号（北海道立工業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案）、議案第43号（北海道立地下資源調査所手数料条例の一部を改正する条例案）、議案第47号（北海道職業訓練指導員訓練受講料条例の一部を改正する条例案）及び議案第48号（北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、商工観光部長及び労働部長からそれぞれ説明の後、

関根建二委員（社会）から、本件には反対との意見があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 3月31日（月） 午前10時37分、第8委員会室において開議、午前10時43分散会
委員長 池島 信吉（社会）

一般議事

- ① 委員長から、地熱資源の開発利用促進等に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期は4月4日から6日までとし、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、道内における商工労働事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期は4月22日から24日まで、実施場所

は、日高、十勝支庁管内とし、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ③ 商工観光部長から、最近の石油情勢について報告。

農務委員会

○ 2月25日（月） 午前10時58分、第7委員会室において開議、午前11時55分散会
委員長 武部 勤（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した中央折衝の概要について報告書より報告。
- ② 委員長から、昭和55年度畜産物価格等並びに砂糖の価格安定等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 農務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ⑤ 農務部長から、行政改革について説明。
- ⑥ 岡本栄太郎委員（社会）から、(1)酪農問題に関し、昭和55年度生乳計画生産に対する道の具体的な取り組み、乳製品の在庫と輸入問題に対する道の見解 (2)転作問題に関し、減反上積に係る転作のあり方、転作条件の整備に対する道の取り組み方等

神本三也委員（社会）から、北海道農業検討会の経過と道の対応姿勢等について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○ 3月28日（金） 午後3時55分、第7委員会室において開議、午後3時56分散会
委員長 武部 勤（自民）

一般議事

- 委員長から、昭和55年度加工原料乳保証価格等に関する要望決議案の発議についてははか

り、異議なく決定。

- 3月30日（日） 午後4時20分、第7委員会室
において開議、午後4時50分
散会
委員長 武部 勤（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第20号（北海道農業振興審議会条例案）
を議題とし、農務部長から説明の後、
神本三也委員（社会）から、今回の条例に
関連して整理統合する審議会以外に廃止する
審議会の提示

岡本栄太郎委員（社会）から、新設審議会
の運営方法等について
質疑があり、農務部長から答弁があつて、異
議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第44号（北海道立産業共進会場条例の
一部を改正する条例案）、議案第45号（北海
道立農業試験場使用料及び手数料条例の一部
を改正する条例案）、議案第46号（北海道家
畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案）
を一括議題とし、農務部長から説明の後、
神本三也委員（社会）から、使用料、手
数料の改正前後の内容と算定方法及び基本的な
考え方等

岡本栄太郎委員（社会）から、産業共進
場の使用料に係る基本料金の算定根拠等につ
いて質疑があり、農務部長から答弁の後、岡
本委員から本件には反対との意思表示があつ
て、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数
（社会、公明反対）をもって原案のとおり可
決することに決定。付託案件に対する委員長
報告については、委員長に一任することとし
た。

一般議事

- ① 委員長から、農業改良普及事業に関する要
望意見案を發議することをはかり、異議なく
決定。
② 委員長から、付託の請願、陳情について、
今後付託されるものも含め閉会中継続審査の
申し出をすること及び所管事務について、閉
会中継続調査の申し出をすることをはかり、
異議なく決定。

- 3月31日（月） 午前10時43分、第7委員会室
において開議、午前10時55分
散会
委員長 武部 勤（自民）

一般議事

- ① 農務部長から、昭和55年度畜産物価格等の
決定に関し報告の後、
湯田倉治委員（道政）から、食肉流通消費
改善対策における産直販売の内容について、
質疑があり、農務部長から細部確認のうえ、
次回委員会で答弁する旨応答。
② 岡本栄太郎委員（社会）から、常任委員会
への出席説明員数について要望があり、委員
長から応答。

建設委員会

- 2月25日（月） 午後1時57分、第4委員会室
において開議、午後2時50分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一般議事

- ① 委員長から、北海道住宅供給公社運営委員
会の委員選出について、伊藤豪副委員長（道
政）及び佐々木利昭委員（自民）を推せんす
ることをはかり、異議なく決定。
② 土木部長及び住宅都市部長から、第1回定
例会提出予定案件について説明。
③ 土木部長から、さきの委員会において提出
要求のあった静内・中札内線（仮称）の現況
調査資料に関し、開発局との折衝結果につ
いて報告。ついで、委員長から、本件に関し、
委員会として開発局へ要請した経過と結果に
ついて報告の後、
藤井虎雄委員（社会）から、開発局の資料
提出の拒否理由、委員会に対する開発局の対
応姿勢、公害対策特別委員会との関連を含め
理事会での再検討方等について、発言があ
り、委員長から応答の後、
湯本芳志委員（社会）から、道道の認定に
係わる現況調査を国の機関が実施することの
妥当性及び資料の取扱いに対する開発局の態
度等について発言。
④ 住宅都市部長から、住宅団地開発事務所に

係わる行政改革の概要について報告の後、

佐々木利昭委員（自民）から、新設する開発事業課の事業に係わる会計方式

萩上元春委員（社会）から、住宅団地開発事務所の廃止について職員団体の合意の有無と今後の取扱いについての考え方について質疑があり、住宅都市部長から答弁。

- ⑤ 住宅都市部長から、小樽臨港線に係わる都市計画変更の概要について報告の後、

湯本芳志委員（社会）から、都市計画審議会にのぞむ道の態度について質疑があり、住宅都市部長から答弁。

- ⑥ 佐々木利昭委員（自民）から、土木部と住宅都市部との予算説明資料の内容統一方について要望があり、土木部長から答弁。

- 3月22日（土） 午後8時16分、第4委員会室において開議、午後11時42分散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

付託案件の審査

- 先議を要する議案第109号（損害賠償の額の決定に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、

湯本芳志委員（社会）から、本件損害賠償に関し、損害賠償に応ずる場合の根拠法令、被害者との過失相殺の有無、被害者に対する民法上の損害賠償及び公務災害補償の総額提示の有無、示談交渉の内容と交渉に係わる文書の有無、公務災害補償において障害年金が支払われる場合、民法上の賠償責任のうち逸失利益を控除すべきか否かに対する判断と昭和52年10月の最高裁判例に対する見解、地公災法第58条について控除説しかないとする理由等について

（関連して藤井虎雄委員（社会）から、地公災法第58条の解釈について）

質疑及び意見があり、土木部長から答弁。理事会開催のため、午後10時36分休憩、午後11時41分再開、委員長から、理事会における協議の結果を報告。

- 3月30日（日） 午後4時35分、第4委員会室において開議、午後8時50分散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第49号（北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案）、議案第50号（北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例案）、議案第51号（北海道沿岸水域の工事取締条例の一部を改正する条例案）、議案第52号（北海道立寒地建築研究所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案）及び議案第53号（北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、土木部長及び住宅都市部長から、それぞれ説明の後、湯本芳志委員（社会）から、本件にはいずれも反対との意思表示があり、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第54号（北海道公営住宅条例の一部を改正する条例案）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、

萩上元春委員（社会）から、公営住宅の敷金を将来廃止する考え、敷金の軽減について更に検討することの必要性及び市町村の敷金見直しに対する道の基本的な考え方等について

質疑及び要望があり、住宅都市部長から答弁の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ③ 議案第85号（北海道道の路線の認定に関する件）及び議案第86号（財産の処分に関する件）を議題とし、土木部長及び住宅都市部長から、それぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ④ 議案第109号（損害賠償の額の決定に関する件）を議題とし、土木部長から、3月22日の委員会における湯本芳志委員（社会）及び藤井虎雄委員（社会）の質疑に対する答弁の後、

湯本芳志委員（社会）から、地方公務員災害補償と民法上の損害賠償責任との関係に関し、地公災法第58条第1項の解釈、関連する学説、判例の受けとめ方、52年の労災法の解

積に係る最高裁判決に対する見解及び地公災法の解釈について該当しないとする理由、労災法、国・地公災法についての災害補償制度の運用の相違点の有無等及び副知事の委員会出席について

(関連して藤井虎雄委員(社会)から、労災法の解釈に係る52年最高裁判決に対する見解及び道が反対学説を支持する理由、労災法と地公災法との災害補償制度の運用についての見解等について)

質疑及び要求があり、土木部長から答弁。理事会開催のため、午後7時50分休憩、午後8時36分再開、ついで、委員長から、理事会において協議の結果、副知事の出席を要求した旨を報告の後、

湯本芳志委員(社会)から、被害者に対する今後の生活補償等について配慮する考え、この種の損害賠償事案に対する道の取り組み姿勢等について

質疑及び意見があり、三上副知事から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会反対)をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請 願

第39号 月寒川改修に関する件 (採択)

第66号 月寒川改修に関する件 (採択)

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継統審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継統調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○3月31日(月) 午後1時27分、第4委員会室において開議、午後1時50分散会

委員長 水沼 徳一郎(自民)

一 般 議 事

- ① 住宅都市部長から、防寒住宅の断熱基準の改正について説明の後、伊藤豪委員(道政)から、道営住宅の建築

にあたっての改正基準適用の考え、既存の道営住宅の断熱基準に対する考え方について質疑があり、住宅都市部長から答弁。

- ② 住宅都市部長から、小樽臨港線の都市計画変更に係る都市計画地方審議会の予備審査について説明。

農 地 開 発 委 員 会

○2月25日(月) 午前10時49分 第3委員会室において開議、午前11時3分散会

委員長 高田 忠雄(道政)

一 般 議 事

- 農地開発部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○3月30日(日) 午後3時58分 第3委員会室において開議、午後4時散会

委員長 高田 忠雄(道政)

一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継統調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○3月31日(月) 午後1時23分 第3委員会室において開議、午後1時27分散会

委員長 高田 忠雄(道政)

一 般 議 事

- 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

水 産 委 員 会

○2月25日(月) 午後1時43分 第6委員会室において開議、午後1時58分散会

委員長 小笠原 孝(自民)

一 般 議 事

- ① 委員長から、韓国漁船問題に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、韓国漁船問題に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期は2月26日から27日までの2日間とし、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 水産部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 水産部長から、行政改革に関し、水産部関係出先機関の再編整備について説明。

○3月30日(日) 午後4時、第6委員会室において開議、午後4時3分散会
委員長 小笠原 孝(自民)

付託案件の審査

- 議案第55号(北海道立漁業研修所条例の一部を改正する条例案)、議案第56号(北海道立水産孵化場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案)、議案第57号(北海道立水産試験場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、水産部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○3月31日(月) 午後零時17分、第6委員会室において開議、午後零時33分散会
委員長 小笠原 孝(自民)

一般議事

- ① 委員長から、道内における水産事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ② 川崎守委員(共産)から、(1)行政改革との関連における網走水試験別分場の改築の是非、水産試験場の行革決定時期 (2)漁連問題に関し、本件の細部資料提示に対する漁連の

姿勢、事件解明による道の再建対策の必要性、漁連の金融取引の明示、本問題の中間報告方

星野健三委員(社会)から、漁連に関する把握資料の完全提出方

(関連して、石崎喜太郎委員(自民)から、漁連との協議による資料の適正な取扱いについて)

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

文教林務委員会

○2月25日(月) 午後2時、第10委員会室において開議、午後2時31分散会
委員長 熊谷 克治(社会)

請願、陳情の審査

請願

第20号 道立釧路養護学校の通学バスの増車を求める件 (採択)

一般議事

- 教育長、林務部長及び学事課長から、第1回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

○3月22日(土) 午後8時16分、第10委員会室において開議、午後8時27分散会
委員長 熊谷 克治(社会)

付託案件の審査

- 先議を要する議案第98号(工事請負契約の締結に関する件)、議案第99号、議案第100号、議案第102号、議案第103号、議案第104号、議案第105号、議案第106号、議案第107号(いずれも財産の取得に関する件)を一括議題とし、教育長から説明の後、

吉田英治委員(社会)から、釧路北高校の用地及び建物の取得先が釧路市となっている理由、函館西高校の仮校舎の取得先を白百合学園とした理由及び本校舎建設後の利用方法について

質疑があり、教育長から答弁の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。先議案件

に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

○3月30日(日) 午後4時25分、第10委員会室において開議、午後5時散会
委員長 熊谷 克治(社会)

付託案件の審査

① 議案第21号(北海道立体育センター条例案)を議題とし、教育長から説明の後、

吉田英治委員(社会)から、附則における廃止の条例との関連及び別館使用料の値上げの有無について

質疑があり、教育長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

② 議案第58号(北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例案)、議案第59号(北海道立林産試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案)、議案第60号(北海道木材業者製材業者合板及び単板業者登録条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、林務部長から説明の後、

吉田英治委員(社会)から、本件には反対との意思表示並びに木材業者等の登録を義務づける理由について質疑があり、林務部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

③ 議案第63号(北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案)、議案第65号(北海道立美術館使用料条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、教育長から説明の後、

吉田英治委員(社会)から、道立高校寄宿舎の構造別設置状況と使用料の相違理由、美術館の使用料の安易な値上げの是非について質疑及び意見があり、教育長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

④ 議案第61号(北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第62号(北海道公立高等学校定時制課程及び

通信制課程生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第64号(北海道立青年の家条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

⑤ 議案第72号(北海道からまつ球果集荷等取締条例を廃止する条例案)、議案第73号(北海道緊急造林奨励条例を廃止する条例案)、議案第74号(北海道水源林野道行造林条例を廃止する条例案)を一括議題とし、林務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

○ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○3月31日(月) 午前10時45分、第10委員会室において開議、午前10時50分散会
委員長 熊谷 克治(社会)

一般議事

① 教育長から、昭和55年度公立高等学校入学者選抜第2次募集について説明。

② 吉田英治委員(社会)から、教員登録者の採用状況等について資料要求があり、教育長から応答。

③ 付託の請願第50号(道立高校の授業料値上げ反対、父母負担軽減を求める件)及び請願第67号(主任手当制度をやめ、その財源を教育条件等の整備に充当する件)について、それぞれ議決不要の扱いとすることををはかり、異議なく決定。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- 2月25日(月) 午後4時39分、第1委員会室において開議、午後4時42分散会
委員長 作田 政次(自民)
- 開発調整部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

石炭対策特別委員会

- 2月25日(月) 午後2時44分、第11委員会室において開議、午後2時57分散会
委員長 工藤 万砂美(自民)
- ① 委員長から、さきに実施した炭価引上げに関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長及び労働部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 商工観光部長から、北炭夕張(株)清水沢鉱の閉山問題の経過の概要と今後の対策等について説明。

北方領土対策特別委員会

- 2月25日(月) 午後5時、第3委員会室において開議、午後5時22分散会
委員長 北村 義和(自民)
- ① 委員長から北方領土の復帰促進に関する山梨県議会の再決議状況について報告。
- ② 委員長から、さきに実施した北方領土の早期復帰に関する他府県への決議要請の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 領対本部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 領対本部長から、昭和55年度北方領土対策関係国費予算の概要について説明。
- ⑤ 領対本部長から、さっぽろ雪まつり協賛北

方領土返還要求啓発行事開催結果について報告。

- ⑥ 領対本部長から、根室地域振興特別措置及び旧漁業権補償問題について報告。

- 3月12日(水) 午後5時23分、第3委員会室において開議、午後5時25分散会
委員長 北村 義和(自民)
- ① 委員長から、北方領土返還の未解決に伴う国内措置に関する要望意見案について配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、北方領土返還の未解決に伴う国内措置に関する要望意見案についての中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

公害対策特別委員会

- 2月25日(月) 午後4時40分、第2委員会室において開議、午後4時47分散会
委員長 和田 勝之(自民)
- 生活環境部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- 3月31日(月) 午前9時54分、第2委員会室において開議、午前10時15分散会
委員長 和田 勝之(自民)
- (開議に先立ち、委員長から橋浪蔵委員(道政)の委員辞任に伴い、伊藤豪委員(道政)が補充選任された旨を報告。)
- ① 議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりすることに決定。
- ② 生活環境部長から、最近における公害対策に関し、主要な案件について報告。
- ③ 委員長から、道内における公害状況調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ④ 吉野之雄委員（社会）から、本委員会の積極的な開催方について要望があった。

有珠山噴火災害対策特別委員会

○2月25日（月） 午後5時15分、第1委員会室において開議、午後5時26分散会
委員長事故のため、副委員長岡本栄太郎（社会）

- ① 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
② 総務部長から、有珠山噴火災害による被害及び対策措置状況について報告。

石油緊急対策特別委員会

○3月28日（金） 午後1時55分、第1委員会室において開議、午後2時12分散会
委員長 高橋 賢一（自民）

- ① 委員長から、本委員会の調査終了については、異議なく決定。調査結果に関する委員長報告については、委員長に一任することとした。
② 商工観光部長から、最近の石油をめぐる諸情勢と道の対策について報告。
③ 委員長から、調査終了に伴うあいさつがあった。

予算特別委員会

○3月21日（金） 午後4時39分、第1委員会室において開議、午後4時52分散会

委員長 滝沢 勉（自民）

正副委員長の互選

① 阿部恵三男臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、渋谷澄夫委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、滝沢勉委員（自民）を委員長に選出。

② 委員長から、副委員長互選の方法については、高木繁光委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、藤井虎雄委員（社会）を副委員長に選出。

③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後4時44分休憩、午後4時47分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、付託案件のうち昭和54年度北海道各会計補正予算関係議案については、本委員会において先議することとし、その他の案件については、3分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員17人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局及び監査委員、第2分科会は委員17人、所管は民生部、衛生部、土木部、住宅都市部、企業局及び教育委員会、第3分科会は委員17人、所管は農務部、農地開発部、水産部、林務部、商工観光部及び労働部とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。

④ 各分科会の委員の選任については、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（17人）

小田原要四藏（社会） 青山 章（自民）
桜井 外治（自民） 中川 隆之（道政）
水岡 薫（自民） 関根 建二（社会）
伊藤 武一（公明） 高木 繁光（自民）
中崎 昭一（自民） 伊藤 豪（道政）
野村 権作（自民） 古川 靖晃（自民）

工藤万砂美(自 民) 笹浪 幸男(自 民)
鈴木 誠二(社 会) 舟山 広治(社 会)
湯本 芳志(社 会)

○第2分科委員(17人)

樫林 巖(社 会) 木本 由孝(自 民)
佐々木行雄(自 民) 勝木 省三(道 政)
山口 眞人(自 民) 長岡 寅雄(社 会)
柳谷 正一(公 明) 輪島 幸雄(社 会)
渋谷 澄夫(社 会) 宇川 源吉(自 民)
佐藤 静雄(自 民) 平野 明彦(自 民)
伊藤 知則(自 民) 小笠原 孝(自 民)
藤井 虎雄(社 会) 本間喜代人(共 産)
阿部恵三男(自 民)

○第3分科委員(17人)

小田部善治(道 政) 土屋 良三(自 民)
久田 保(自 民) 吉川 貴盛(自 民)
吉野 之雄(社 会) 工藤 啓二(公 明)
米村 邦敏(社 会) 岩崎 守男(社 会)
石崎喜太郎(自 民) 岩田 徳弥(自 民)
川口 常人(自 民) 湯田 倉治(道 政)
和田 勝之(自 民) 宇野 眞平(自 民)
武部 勤(自 民) 笠島 保(社 会)
作田 政次(自 民)

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長各1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について、先議案件については一括して行うこと、質疑は、通告の形式によることとして行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行うこととし、正副委員長の配分のない会派及び諸派についても理事会に出席願うことをはかり、異議なく決定。

○3月22日(土) 午前10時30分、第1委員会室
において開議、午後7時40分
散会

委員長 滝沢 勉(自民)

① 議案第87号ないし第92号、第95号、第96号
報告第3号及び第4号に対する質疑に入り、
樫林 巖委員(社会)から

- (1) 財政問題に関し、道税の増額に係る税収見積りの経過及び補正時期のあり方、財政運営についての基本的な考え方、道税の増収及び道債の追加計上との関係における減債基金積立金の計上のあり方、道債の増額、減額の調整状況と予算関係資料の明瞭化、繰越明許費と景気及び中小企業対策との関連、工業団地会計に係る苫東関連住宅団地の用地売却の見通しと一般会計からの借入金等の負債増大に対する見解及び住宅団地の計画見直しの考え
- (2) 農業問題に関し、タマネギの福祉施設等への無償配付に係る予算計上の基本的な考え方、配付対象外施設への代替措置の必要性、学校給食への配付についての考え方、稲作転換に係るタマネギの農政上の問題点と道の対処姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長、開発調整部長及び農務部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時27分休憩、午後1時39分再開。引き続き、

樫林 巖委員(社会)から、

- (3) 道有財産の取得及び処分に関し、釧路土木現業所庁舎の土地の使用の経緯と農地法との関連及び用地取得後の登記上の取扱い方、旭川工業高校用地の購入及び旭川医科大学用地の国への売払い処分に係る価格の算定方法とその矛盾点、医科大用地を国へ譲渡するに至った経緯と後今の取扱い等について

(関連して、岩崎守男委員(社会)から、財政問題に関し、財政運営の中長期計画の必要性と道の基本的な考え方、道税の収入見積りあり方及び政策的財政措置との関係、道税の増収と道債追加計上との矛盾及び減債基金の積み立てについての考え方との関連等について)

質疑、意見及び要望があり、土木部長、農務部長及び

総務部長から答弁。理事者交代のため午後2時54分休憩、午後2時58分再開。ついて、

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 財政問題に関し、道の各種基金の積立金と他府県との比較、財政調整基金条例と教育施設整備基金条例及び減債基金条例案における基金運用についての基本的な考え方、奨学金についての補正内容と今後の取扱い及び基金積み立ての基本方針との関連、基金積立金に係る金融制度の利用状況と今後の運用のあり方
- (2) 特別生活資金貸付制度に関し、市町村における福祉灯油の実施状況と道の受けとめ方、特別生活資金の貸付状況と今後の見通し、貸付金の返済方法と返済できない場合の措置、明年度における取り組み方
- (3) 苫東関連住宅団地に関し、苫東住宅団地についての地域振興整備公団の態度と道の取扱方針の年度内決定の見通し、住宅供給公社の苫東保有団地に係る金利負担の実態と住宅都市行政のあり方との関連、苫東住宅団地の道財政への影響と今後の取り組み方等について

質疑及び意見があり、総務部長、民生部長、開発調整部長及び住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により、午後4時16分休憩、午後6時27分再開。

② **知事に対する総括質疑**に入り、

櫻林 巖委員（社会）から、

- (1) 財政運営のあり方に関し、道税の収入見込みの把握及び最終補正予算提案の時期についての考え方、中長期財政計画策定についての所見及び財源の年度間調整との関連
- (2) 道有財産の取得及び処分に関し、旭川市の工業高校用地取得と医大用地処分の価格差に係る価格算定方法の明示と今後の方針及び予算書のあり方について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、先議案件に対する質疑を終結。先議案件に対する意見調整のため、午後6時50分休憩、午後7時34分再開。

③ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第87号、第91号及び第92号について意見の一致をみるに至らなかった旨を報告の後、直ちに討論に入り、渋谷澄夫委員（社会）から議案第87号、第91号に関する

反対討論があって、討論終結。ついて、議案第87号及び第91号を一括問題とし、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定の後、渋谷澄夫委員（社会）から議案第87号及び第91号に関し、少数意見を留保する旨を発言。次に、議案第92号を問題とし、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。次に、議案第88号ないし第90号、第95号、第96号、報告第3号及び第4号を一括問題とし、異議なくいずれも原案可決又は承認議決と決定。

④ 先議案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

第 1 分 科 会

○3月21日（金） 午後4時55分、第1委員会室において開議、午後5時5分散会

第1分科委員長

高木 繁光（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に高木繁光委員（自民）、分科副委員長に鈴木誠二委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議、決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、古川靖晃委員（自民）、関根建二委員（社会）、中川隆之委員（道政）、伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○3月24日（月） 午前11時38分、第1委員会室

において開議、午後5時8分
散会

第1分科委員長

高木 繁光（自民）

- 公安委員会所管に対する質疑に入り、
分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）からの本分科会への出席及び公委員会所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

山家 勇委員（社会）から、

- (1) 駐在所・派出所勤務員の勤務環境改善についての見解、駐在所等の増・改築の考え、職・住分離の考え、複数駐在所へ移行の考えと早期実施の必要性、ミニパトカーの配置状況と今後の整備計画、駐在所勤務員の家族報償費の増額の必要性
- (2) 交通安全協会に関し、道協会の目的、決算状況と地区協会からの会費徴収についての考え方並びに道費補助の増額の必要性、道協会のあり方及び地区協会の強化育成についての見解等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、警ら部長、総務部長及び交通部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時43分休憩、午後1時56分再開。分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の質疑通告の取下げについて報告の後、

湯本 芳志委員（社会）から、

自動車の構造と交通事故防止に関し、オートマチック車とマニュアル車との構造上及び運転操作上の差異、オートマチック車の事故発生状況把握の必要性、外国におけるオートマチック車の普及状況とバス、トラック等への採用についての検討方について

湯田 倉治委員（道政）から、

風俗営業等取締法の運用に関し、道警の取締方針、風俗営業、興業場等の実態並びにこれらの広告宣伝に対する取締強化の考え、売春防止法に基づく取締強化の考え、新たな規制条例制定検討の考え等について

工藤 啓二委員（公明）から、

- (1) ミニパトカーの配置状況と積極的な整備の必要性
- (2) 道内における猟銃による犯罪の発生状

況、猟銃の所持許可件数と許可基準、暴力団員の所持状況と再点検の状況、不要銃の把握状況、猟銃による犯罪防止対策等について

吉田 英治委員（社会）から、

- (1) 駐・派出所の新設の考え方と現時点における設置必要箇所、新設に至るまでの治安維持対策、新設に当たっての人員、用地及び予算の確保についての考え
- (2) 第2次交通安全設備事業5ヶ年計画の進捗状況、地域の計画に即応する交通安全施設整備の必要性と対策
- (3) 防犯対策の取り組み状況、道内における防犯灯の設置状況と減少理由、警察が防犯灯を設置しない理由、地域住民と直結した防犯対策の推進等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、交通部長、防犯部長、総務部長及び警ら部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

○ 3月25日（火） 午前10時20分、第1委員会室
において開議、午後6時散会
第1分科委員長

高木 繁光（自民）

○ 生活環境部所管に対する質疑に入り、

長岡 寛雄委員（社会）から、

- (1) 知内火力発電所の環境保全対策に関し、地元自治体及び関係団体の意見、要望に対する道及び北電の対応、環境影響評価条例による事前評価の結果と対応、発電所の規模、発電量及び運転開始時期、大気汚染の監視体制と公害防止協定の内容、伊達火発の場合との相違点、監視・測定機器の維持管理、運営等の助成に対する考え方等
- (2) 砂利採取場における水質汚濁防止対策に関し、全道の砂利採取場の実態と業者への指導状況、排水基準の遵守状況と違反の内容、大野川流域の砂利採取場の汚濁水の実態把握と函館湾における漁業への被害の実態把握と措置等について

（関連して、藤井虎雄委員（社会）から、知内火発と伊達火発の公害防止協定における立入調査条項の規定の表現の相違等について）

関根 建二委員（社会）から、

伊達地方の環境汚染問題に関し、環境影響評価条例の制定に伴う伊達火発に対する環境影響評価の考え方、北電と伊達市間の公害防止協定の大気汚染防止対策の内容と伊達火発の排煙の実態との関連、有効煙突高度の測定基礎についての見解、硫黄酸化物について最大地上濃度を超えた場合の指導内容、硫黄酸化物による農作物の被害に対する調査結果と被害原因の十分な調査方、監視体制の整備、測定地点の選定基準、地点設定見直しと増設指導の考え方、伊達地方環境監視室の所管部の妥当性、公害防止協定についての見直し等今後の指導の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時44分休憩、午後1時50分再開。ついで、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

- (1) 北海道危険動物飼養規制条例に関し、目的及び危険動物の範囲、種類、微生物等の病原菌を人に感染させるおそれのある動物を条例に含めることについての見解並びに今後における善処方
- (2) 合成洗剤に関し、わが国の環境問題に対する基本的な考え方、本道の自然環境問題についての認識、リンを含む合成洗剤の抑制要綱の目的、内容及び他府県の状況、富栄養化のリンの寄与率、無リン化洗剤の供給見通し、富栄養化の問題のない地域、水域を含めることについての見解、富栄養化防止策の積極的推進の必要性、合成洗剤に使用される界面活性剤、助剤及び蛍光染料の諸問題に対する見解、保健所における公害問題に係る体制についての見解等について

保格 博夫委員（社会）から、

自動販売機に関し、道内に設置されている自動販売機の実態と利用状況及び消費者からの苦情の状況、ステッカーの貼付の状況、ガソリンの自動販売機の実態と使用容器の諸問題、ベンダーショップの実態と監視の状況、食品衛生法上の問題点と対処策、生活安定条例に基いて表示の規制を行う考え、有害図書の販売実態と業者への指導状況、青少年健全

育成との関連における対策、投棄されている空かんの実態把握の状況、他府県における空かん等の買い取り制度の状況、環境保全、資源再利用の観点からの空かん等の回収と再利用に対する取り組み等について

柳谷 正一委員（公明）から、

鉱山公害問題に関し、道内の休廃止鉱山の実態と戸井鉱山の公害防止対策の状況及び対策の早急な実施、道内の土壌汚染の実態把握状況、銭亀沢地域の土壌汚染の実態と措置状況及び対策の早急な実施等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。あって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

- 3月26日（水） 午前10時32分、第1委員会室において開議、午後5時51分散会
第1分科委員長
高木 繁光（自民）

○ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）からの本分科会への出席及び開発調整部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

舟山 広治委員（社会）から、

北海道経済と試験研究機関問題に関し、北海道経済の現状認識と今後の対処策、社会経済情勢の変動に伴う発展計画の見直しの必要性についての見解、地場産業の振興策、道立の試験研究機関の位置づけ、試験研究機関において産業経済上の重要な課題についての取り組みの必要性と調整の考え、総合経済研究所廃止案を撤回する考えと廃止した場合の調査研究の対応策等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。湯本芳志委員（社会）から、議事進行発言があって、午後零時24分休憩、午後2時30分再開し、開発調整部長から休憩前の舟山広治委員（社会）の質疑に対する補足答弁。ついで、

藤井 虎雄委員（社会）から、

- (1) 苫小牧東部の石油共同備蓄における石油タンク・パイプラインの耐震設計の安全性
- (2) 発展計画におけるエネルギー指標の意義

と役割、エネルギー指標における62年度の
数値と予想される石炭・電力・石油の需給
見込量の変動についての見解、エネルギー
情勢の変化に伴う発展計画の見直しを検討
する考え等について

山家 勇委員（社会）から、

(1) 滝里ダム建設問題の現状認識と道の地元
への積極的な対応の必要性、ダム建設に係
る国鉄根室本線の付け替え計画についての
国鉄との協議の内容

(2) 石勝線開通に伴う中空知地方の交通確保
の考え等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○3月27日（木） 午前10時21分、第1委員会室
において開議、午後6時54分
散会
第1分科委員長

高木 繁光（自民）

○ 開発調整部所管に対する質疑の続行、

熊谷 克治委員（社会）から、

大学の整備計画に関し、整備10校の内容、
設置主体、設置見通し、衛生大学の設立準備
の状況、看護短大の設置構想、国立大学誘致
の取り組み状況と見通し、芸術大学の誘致場
所選定のあり方等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び次長から答
弁。議事進行の都合により、午前11時50分休憩、午後
2時1分再開し、開発調整部長から休憩前の熊谷克治
委員（社会）の質疑に対する答弁の後、引続き、

熊谷 克治委員（社会）から、

大学の整備計画に関し、芸術大学の誘致場
所を札幌市とした理由、場所の選定について
の道民意向尊重の必要性、教育研究施設の地
方分散に対する考え方、医大誘致に係る促進
協議会での検討経過、研究学園都市構想の現
状と今後の見通し、誘致場所指定を凍結する
考え等について

工藤 啓二委員（公明）から、

辺地離島空港の整備に関し、辺地離島航空
航路の運行状況、YS機就航の見通し、空港
ターミナルの整備、日本近距離航空株式会社
の経営状況、道営空港の市町村委託費増額の
必要性等について

（関連して、湯本芳志委員（社会）から、Y
S機導入による国鉄ローカル線への影響、Y
S機の整備体制と安全性確保について）

本間 喜代人委員（共産）から、

(1) 苫東開発に関し、日商岩井を第3セクター
から排除する考え、自動車工業の立地見通
し、三井グループへの用地分譲価格の積算根
拠と妥当性、工業基地緑地の保全計画策定時
期、分譲価格と緑地造成費との関連、今後の
分譲価格と不均衡が生ずる懸念

(2) 千歳空港の国際化に関し、自衛隊との空港
共同に伴う支障の有無、国際化についての防
衛庁の意向、道との協議内容、開港の見通し

(3) 十勝太羅ランC基地に関し、基地増強工事
の現状、環太平洋軍事演習の参加国が本道の
港湾に寄港することに対する見解

(4) 機構改革に関し、総研廃止案を撤回する考
え等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、大規模工
業基地対策事務局長、開発調整部参事及び交通対策課
長から答弁。

○3月28日（金） 午前10時43分、第1委員会室
において開議、午後5時27分
散会
第1分科委員長

高木 繁光（自民）

① 各種委員会所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

選挙制度と選挙のあり方に関し、選挙公営
の趣旨、国会議員と地方議会議員間における
公営制度の適用内容の差異に対する見解、他
府県における任意制公営制度の状況、道議会
議員選挙において任意公営としてポスター掲
示場を選択した経緯と公営掲示場の増設に対
する考え方、任意公営として選挙公報の採用
についての検討方、選挙公営制度の拡充に対
する所見、選挙投票所における立会人の選考
基準とそのあり方、明るい選挙推進協議会に
対する道選管の指導姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、選挙管理委員長及び選挙
管理委員会事務局長から答弁。議事進行の都合によ
り、午前11時55分休憩、午後2時27分再開。分科委員
長から、保格博夫委員（社会）及び小野秀夫委員（道

政)の人事委員会所管に対する質疑通告の取下げについて報告の後、引き続き、

吉田 英治委員(社会)から、

選挙のあり方に関し、事前運動についての公選法上の扱い、道土地改良事業団体釧路連合会に係る報道についての見解、選挙管理委員の基本姿勢等について

質疑及び要望があり、選挙管理委員長から答弁があって、各種委員会所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時6分休憩、午後3時12分再開。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員(共産)からの本分科会への出席及び総務部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後

米村 邦敏委員(社会)から、

税務出張所の統廃合問題に関し、税務出張所の設置の経過と地域における役割及び住民との関係についての認識、税務出張所の統合の理由とその背景、納税方法についての法律上の制約等について

質疑があり、総務部長から答弁の後、関根 建二委員(社会)から議事進行発言があって、午後4時6分休憩、午後4時55分再開。総務部長から休憩前の米村邦敏委員(社会)の質疑に対する答弁の後、引き続き、

米村 邦敏委員(社会)から、

税務出張所の統廃合問題に関し、関係市町村の反対意見に対する見解と廃止に伴う関係住民への影響及び道の基本的な対応姿勢等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

○3月29日(土) 午前10時25分、第1委員会室において開議、午後6時16分閉会

第1分科委員長

高木 繁光(自民)

① 総務部所管に対する質疑の続行、

米村 邦敏委員(社会)から、

(1) 道有財産の処分に関し、道有財産の管理、処分の基本法令、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に規定する価格及び面積の取扱い上の矛

盾点とその見解、財産の処分後の不当利得等の防止に対する考え方及び他府県等の実態、議決を得ない財産の処分の実態と今後検討する考え、処分後の状況把握と財産の取得、管理及び処分に対する総務部の裁量、財産処分において用途指定等の措置の必要性、用途指定の基準と処分後に問題となった事案の有無、今後の財産処分のあり方等

(2) 道の人事行政に関し、国・道・市町村間の人事交流の目的と成果及び派遣職員の人選の方法、派遣職員、研修生の身分の取扱いと給与負担の実態及び勤務内容との矛盾、道から市町村に対する派遣職員人事の反省点と人事の適正化についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により、午後1時休憩、午後2時25分再開。分科委員長から、熊谷克治委員(社会)及び小野秀夫委員(道政)の質疑通告の取下げについて報告の後、

岡本 栄太郎委員(社会)から、

行政改革及び道の組織、機構に関し、行財政運営調査委員会の事務事業総点検報告についての検討状況と今回の出先機関の再編整備の考え方及び関係市町村、団体等の反対意見に対する道の姿勢との関連、税務出張所の地域における役割と再編整備に伴う住民への影響及び出先機関の機構改革に対する基本的な考え方との関連、今後における関係市町村の同意の求め方と行政改革の進め方との関係、道行政の効率化に対する取り組み状況、行政窓口の複雑化及び管理職の肥大化傾向に係る本庁機構の見直しの必要性、補助金交付手続の簡素化、議会対応の効率化等について

(関連して、舟山広治委員(社会)から、出先機関を対象とした今回の行政機構改革の妥当性と本庁管理体制を含めた全体的見直しの必要性等について)

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。分科委員長から、本間喜代人第2分科委員(共産)の質疑通告の取下げについて報告の後、

小田原 要四蔵委員(社会)から、

(1) 行政改革に関し、税務出張所の統合の理

由と検討のあり方及び関係市町村等の同意が求められない場合の措置、道印刷所の今後の措置等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。本会議開会のため午後4時27分休憩、午後4時54分再開。引き続き、

小田原要四蔵委員（社会）から、本庁機構の見直しの必要性和出先機関の再編整備を急ぐ理由、道印刷所の廃止に伴う中小企業への印刷発注の配慮方と関係職員の処遇の配慮及び職員団体との十分な協議方、婦人問題に対する取り組みの強化方

(2) 札幌医科大学の整備に関し、新附属病院の設計変更の経緯と変更に伴う影響及び円山分院の取扱いとの関連、動物実験施設の整備の考え方

(3) 道財政問題に関し、国の財政計画、経済政策と地方公共団体の財政運営のあり方との関係、本年度予算編成の考え方と道税収入の確保見通し、中期的財政見通しの必要性、公共料金の性格、高校授業料等の引き上げの根拠と物価に及ぼす影響並びに地方財政計画との関連、今後の財政運営における債務負担行為の増加傾向の効果と公債費の今後の推移及び一般会計から企業会計への貸付金の償還見通しと基本的あり方、予算編成との関連における補助金についての基本的な考え方と見直しの必要性及び予算審議資料への配慮方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があった。総務部所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第 2 分 科 会

○3月21日（金） 午後4時54分、第2委員会室において開議、午後5時2分散会

第2分科委員長

渋谷 澄夫（社会）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に渋谷澄夫委員（社会）、分科副委員長に佐藤静雄委員（自民）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議、決定した。

③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うこと及び共産党についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なく決定。理事には、宇川源吉委員（自民）、樫林巖委員（社会）、勝木省三委員（道政）、柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。

④ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○3月24日（月） 午前11時40分、第2委員会室において開議、午後6時4分散会

第2分科委員長

渋谷 澄夫（社会）

① 企業局所管に対する質疑に入り、

藤井 虎雄委員（社会）から、

電源開発に関し、道が発電事業を行う目的、道営発電所の概要及び経営状況、発電単価、北電の発電コストとの比較、道営発電事業経営の総体的な評価、新規電源立地過程での北電との関連及び対応姿勢、道営ポンテソ水力発電所着工計画の概況、建設費及び起債の条件、公営水力に対する補助金の見込み額、今後の発電計画と北電及び電源開発株式会社の水力発電開発計画、水力以外の新規エネルギーの開発推進の取り組み方等について
吉田 英治委員（社会）から、

(1) 電気事業に関し、道営電気近代化事業の成果、北電との売電契約の料金算定の基礎、今後の水力発電計画、滝の下発電所建設完了予定の見通し、道の発展計画と水力発電所設置計画との関連

(2) 工業用水道事業に関し、現行の水系別工業用水の単価及び全国との対比、苫小牧東部第一工業用水道の取水ダム建設に関する調査状況及び国がダム建設を中止した理

由、苫小牧西部地区の企業撤退と企業債との関連

- (3) 有料道路事業に関し、道営支笏湖畔有料道路の設置目的及び建設工事開始年次と供用開始の年次、早期に無料化する考え
- (4) 苫東開発に関し、苫東工業団地の買収の実績と今後の買収計画、苫小牧市所有地を買収する時期、用地売却実績と今後の売却計画、第3セクターの借金の額、住宅団地の借入金の償還計画、住宅団地の売却先が決定されない理由等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時3分休憩、午後3時18分再開。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

- (1) 住宅都市行政に関し、道営住宅の敷金改定に伴う生活保護世帯に対する保護基準の取扱い、公営住宅への単身者入居に係る政令改正の内容及び今後の住宅建設計画との関連、地域暖房料金の負担軽減の方策、道営住宅の空き家の実態とその原因、空き家住宅の管理体制と管理費支出現況及び空き家解消の抜本的な対策の必要性
- (2) 石狩町の公共事業の汚職事件に係る建設業者への発注状況及び処分の内容と道の姿勢等について

樫林 巖委員（社会）から、

- (1) 公営住宅改善等に関し、公営住宅改善事業の年次計画と見直し、入居者の意見の尊重方、敷金の政令改正に伴う既納入敷金の取扱い
- (2) 公営住宅の使用料に関し、使用料の滞納実態と長期滞納者に対する措置、法的措置をとる時期及び連帯保証人に対する措置、徴収業務の現執行体制の見直し等について

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 道道小樽臨港線に関し、都市計画地方審議会での審議経過と今後の運営、公聴会を開催する必要性
- (2) 公営住宅に関し、公営住宅単身者入居の政令改正に対する道の受け入れ体制、小規模住宅の確保及び入居対象住宅の規模拡大

について国への働きかけの必要性

- (3) 石狩町汚職事件に係る業者に対する指名停止処分のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○3月25日（火） 午前10時23分、第2委員会室において開議、午後5時13分散会
第2分科委員長

渋谷 澄夫（社会）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

- (1) 道路整備に関し、道路事業5カ年計画の進捗状況、市町村道整備の方策、道路交通の安全確保に対する今後の取り組み方
- (2) 河川整備に関し、本道の河川の数と整備状況、都市河川及び災害多発河川の実態と整備対策
- (3) 港港整備に関し、海岸整備5カ年計画の進捗状況と今後の計画
- (4) 土木部関係事業のあり方に関し、公共事業の抑制に伴う今後の事業の進め方、道発展計画における整備目標の達成見直し、公共工事の発注、業者選定についての考え方、ジョイントベンチャーの基本的なあり方、下請保護の強化方等について

長岡 寅雄委員（社会）から、

河川の管理に関し、本道河川における河口閉そくの実態と処理状況、道の河川維持管理の内容と予算の拡充方、河川と開発、利水との関係についての法解釈と運用のあり方、河口閉そくによる漁業等への影響と関係所管部との連携強化による河川工事の推進方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により、午前11時50分休憩、午後1時20分再開。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、山口真人委員（自民）の質疑通告の取下げについて報告の後、

輪島 幸雄委員（社会）から、

- (1) 社会福祉施設の運営に関し、精神薄弱者施設の不祥事多発に対する道の認識と指導

のあり方、民間施設の運営実態と公立施設との格差等の問題点把握の重要性、社会福祉法人の設立段階からの道の指導強化方
(2) もなみ学園に関し、設置目的とその背景、児童福祉法の解釈と精薄児施設設置に対する道の考え方及び今回の廃止措置方針との関連等について

長岡 寅雄委員（社会）から、

教護施設の整備に関し、教護院についての道の法的義務、民間教護施設が現存することに対する見解と民間施設の状態で放置することの適否、教護院の整備に対する今後の方針、大沼、日吉両教護院の施設設備の実態と設備基準との比較及び今後の措置、少年非行に係る発生、相談件数と教護院への収容状況及びその傾向、教護院における児童収容実態、道立施設の入所率が低く、民間施設入所率が高い理由、大沼、日吉両学院における入所制限の有無と施設の収容体制との関連、両学院の性格、分類収容の目的とその評価及び統合整備の考え方との関連、統合整備についての現地との対応状況及び今後の進め方等について

舟山 広治委員（社会）から、

老人福祉行政に関し、民生行政に対する基本的な取り組み姿勢、社会福祉法人の不祥事続発の要因と道の指導上の反省点及び今後の対処方策、道内老人福祉施設整備の全国的な水準、先駆的、モデル的役割りについての道のとらえ方と果すべき分野、社会福祉に対する道、市町村及び法人の役割り、道発展計画における老人福祉施設の進捗状況、老人福祉行政の課題と道の対処姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

○ 3月26日（水） 午前11時31分、第2委員会室において開議、午後5時59分散会

第2分科委員長

渋谷 澄夫（社会）

○ 民生部所管に対する質疑の続行、

関根 建二委員（社会）から、

(1) もなみ学園及び内部障害者更生指導所の入所希望者に対する措置状況と今後の道の

指導方針

(2) 特別生活資金貸付事業に関し、貸付の最終件数、貸付事務の委託内容と委託団体に対する事務費等の補助、指導の状況、委託団体の活動上の問題点の把握報告方、延滞利子についての考え方、福祉灯油制度に移行する考え

(3) 社会福祉施設の運営に関し、社会福祉法人に対する道の監査状況と監査結果についての見解、施設の内紛に係る地裁判決の経過と道の見解及び関連する別件事件についての道の対応状況

(4) 行政改革に関し、先駆的、モデル的役割りの定義とその判断基準、道立和光学園と移管をする四つ葉学園とのモデル面での比較及び和光学園の廃止理由との関係等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時19分休憩、午後2時50分再開。民生部長から、休憩前の関根建二委員（社会）の質疑に対する答弁の後、引き続き、

関根 建二委員（社会）から、

行政改革に関し、和光学園と他の民間施設との質的な面での比較、和光学園の今後の方向と取扱い方針、もなみ学園の廃止理由と自閉症児施設の整備の考え方との関係、もなみ学園の廃止についての再考方等について

本間 喜代人委員（共産）から、

(1) 福祉タクシーに関し、福祉タクシーについての道の調査、検討状況と実施の目途、実施市町村に対する道費助成の考え方、道の助成事業として実施する意思

(2) 婦人相談所の手稲向静学園との併置に関し、婦人相談所の運営についての今後の方向、婦人相談所の利用、運営状況と今回の併置の考え方との関連、婦人相談所の道民へのPR状況に対する見解、潜在的な婦人問題についての認識、婦人相談所の機能と相談員の位置づけ、相談員の減員による影響と行政需要に伴う再検討の必要性、相談所施設の構造についての配慮方等について
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

○ 3月27日（木） 午前10時11分、第2委員会室

において開議、午後5時6分
散会
第2分科委員長
渋谷 澄夫（社会）

① 民生部所管に対する質疑の続行、

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 静和園に関し、静和園の先駆的、モデル的役割の明示、養護老人ホームの設立状況及び根拠法令、収容態様の推移、静和園に係る老人福祉対策の基本的方向と先駆的、モデル的役割についての判断との関連
- (2) もなみ学園及び和光学園に関し、もなみ学園の廃止と自閉症児施設整備との関連性、もなみ学園を先駆的福祉施設として存続させることについての見解、もなみ学園の自閉症児に対する混合教育の実践成果との関連における自閉症児施設新設の基本的な考え方、和光学園廃止方針の小樽市への連絡方法と事前連絡の事実確認方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があった、民生部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前11時7分休憩、午前11時14分再開。

② 衛生部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

- (1) 救急医療情報システムに関し、51年1定後における医療情報システム導入の検討状況と基本的な取り組み姿勢及び実施の目途
- (2) 公立病院の経営に関し、公立病院に対する道の指導の範囲、道内公立病院が有する不良債務の実態、国の経営健全化対策の対象数と本道の対象が多いことの原因、対象外病院の不良債務解消及び経営健全化に対する考え方について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時8分休憩、午後1時58分再開。
引き続き、

吉田 英治委員（社会）から、

公立病院の経営に関し、不良債務の解消策としての医師確保の見通し、不採算地区病院の実態と道の措置状況、地域医療の確保に係る道内医大からの医師派遣についての考え方、地域センター病院の設置、整備計画及び類似病院の性格、経営健全化病院指定に際し

ての総務部との協議の有無と行政指導の内容及び衛生部が直接関与しなかったことの適否、地域センター病院に対する道費助成の考え方について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

○ 3月28日（金） 午前10時27分、第2委員会室
において開議、午後5時19分
散会
第2分科委員長
渋谷 澄夫（社会）

○ 衛生部所管に対する質疑の続行、

輪島 幸雄委員（社会）から、

地域医療の確保に関し、へき地診療所の設置数と現在の運営状況及び北海道保健医療基本計画における目標数との関連、へき地診療所休止の理由、へき地における医師確保の見通し及び地域医療体制の整備との関連、無医地区の現況と過疎法第14条に対する見解、過疎地域振興計画に基づく保健婦の配置等の実施状況及び駐在保健婦制度についての考え方、保健婦確保等に係る過疎地域市町村への助成措置の考え方と保健婦の充足対策及び養成の実態等について

吉野 之雄委員（社会）から、

- (1) 道立病院の移管に関し、道立病院の町移管の理由と寿都病院の診療圏についての認識及び後志医療圏の整備計画との関連、一次医療の確保に対する市町村の行政能力と道の役割及び医学教育のあり方との関連、医療に対する地域住民等の要求についての認識、寿都病院の町移管の条件整備の有無と移管に対する町民の意向等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時26分休憩、午後2時15分再開。
引き続き、

吉野 之雄委員（社会）から、

- (2) 北海道の医療の充実に関し、保健婦の養成・充足状況及び地域偏在に対する見解と今後の対策、救急医療体制の現状と医療機関整備及びヘリコプター導入による患者搬送体制強化の必要性、包括医療に対する見解と具体的な計画、看護婦の再教育による初歩的医療従事の考え等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。分科委員長から、工藤啓二委員（公明）の質疑通告の取下げについて報告の後、

長岡 寅雄委員（社会）から、

- (1) 道立病院の医師充足に関し、医療法に基づく医師定数と現状の配置との関連、過去一年の医師確保状況、医師未配置診療科の状況、委嘱医の配置状況と勤務形態及び機能の十分性、道立病院経営不振の要因、医師確保に対する施策上の問題点と具体的な充足強化策及び医師の待遇改善についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。本会議開会のため、午後3時58分休憩、午後4時54分再開。引き続き、

長岡 寅雄委員（社会）から、道立病院の今後の医師充足計画と実現の見通し

- (2) 道立病院の移管に関し、町移管に対する関係住民等の反応と道の対処姿勢及び地域住民の意思の尊重方、道立病院の条件整備後における医療体制の整備方について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があった。衛生部所管に対する質疑を終結。

○3月29日（土） 午前10時20分、第2委員会室において開議、午後6時31分閉会
第2分科委員長
渋谷 澄夫（社会）

- ① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

- (1) 高等学校長及び教職員の厳正な人事管理方
- (2) スポーツ施設に関し、中島体育センターの民間委託の考え方と教育行政に関する法体系との関連、民間委託を考えた経緯と市町村への影響及び今回の民間委託の妥当性、今後の運営についての検討状況、直営、混合管理の検討方、混合方式における職員派遣の考え方と直営に戻す余地、北海道体育協会の性格と事業内容及び財政運営の実態、体育協会による国体派遣と中・高体連による派遣に対する経費援助のアンバランスについての見解、中島体育センター

施設利用に対する制約、センターの管理運営についての懸念と利用の形態及び使用料に対する考え方、本館、別館に対する条例、規程の適用範囲、長期計画による他の体育センター建設計画等について

保格 博夫委員（社会）から、

- (1) 学校給食に関し、学校給食の安全性に対する基本的な見解、イーストフードの使用抑制に対する経過措置及びパン工場指定の仕組み、イーストフードの使用中止による問題点の解決方法、学校給食に係る合成洗剤の使用状況と排除に対する考え方及び財政的措置等の具体的取り組みの検討方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があった。議事進行の都合により、午後零時休憩、午後2時10分再開。引き続き、

保格 博夫委員（社会）から、

学校給食に関し、学校栄養職員の配置状況、配置基準の改善に対する考え方、学校食堂の設置状況と設置促進についての取り組み

- (2) 高校授業料改定に関し、道立高校授業料の値上げの経緯及び改定に対する道教委の基本的見解、教育行財政のあり方
- (3) 障害児教育に関し、精薄児の年次別出現率の差に伴う教育措置の考え方、精薄高等部教育の充実及び今後の見通し、自閉症児の対応策、精薄施設寮母の配置体制の改善に対する考え方
- (4) 教育条件の整備に関し、教育財政の充実との関連における教育条件整備に対する考え方、学校教育に対する取り組み方、
- (5) 主任手当に関し、主任手当支給の趣旨と返還等の実態とのそご及び制度見直しの必要性等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。分科委員長から、櫻林巖委員（社会）及び橋浪蔵委員（道政）の教育委員会所管に対する質疑通告の取下げについて報告の後、

星野 健三委員（社会）から、

- (1) 体育センターの委託に関し、中島体育センターの土地・建物の評価額と委託費、委託の内容と契約の時期、道教委の直営事業の内容と委託事業との比率、財団法人であ

る道体育協会が公有財産の委託業務を行うこと
の合法性と寄附行為の改正及び指導監督
に対する考え方、スポーツ指導者養成の
ための指導体制の考え方

- (2) 宿泊研修旅行旅費に対する基本的な考
え方と必要な予算額及び未措置の理由につ
いて

質疑、意見及び要望があり、教育長から答
弁。本会議開会のため、午後4時3分休憩、
午後4時50分再開。

引き続き、
星野 健三委員（社会）から、宿泊研修旅
費の予算措置の見直し

- (3) 高校野球に関し、54年3定における出
場辞退等の問題提起後の対処状況と私立高
校に対する取扱い、全国大会参加経費負担
の実態、多額の寄附に係る問題点と今後の
指導方針等について

工藤 啓二委員（公明）から、

高校教育に関し、道内の公立高校の中退
学者の実態と中退の理由及び現状認識、中
退の解消策、児童生徒の非行の原因と対応
策、非行防止に対する学校と家庭との連携
強化、公立高校の二次募集の実態と定員に
満たない理由及び学校教育への影響、定
時制生徒減少等に対する対応策、工業高
校に木工芸科を設置する考え等について

本間 喜代人委員（共産）から、

教育行政に関し、既設養護高等部の間
口増についての対応状況と学級編制の適
正化の見直し、養護高等学校の建設計
画の促進及び今後の取り組み方、特殊
学校のプール等の整備に対する考え方、
中・高等学校教師の自衛隊関係の研
修参加の実態と進路指導についての
適切な配慮方、教育庁の次長制設置
に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から
答弁があった。教育委員会所管に対
する質疑を終結。

- (2) 分科委員長から、付託案件に対
する審査経過報告について、分科委員
長に一任されたい旨をはかり、異議
なく決定。
- (3) 分科委員長から、分科会にお
ける審査終了のあいさつがあった。

第 3 分 科 会

○ 3 月 21 日（金） 午後 4 時 56 分、第 11 委員会室
において開議、午後 5 時 7 分
散会

第 3 分科委員長

岩田 徳弥（自民）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に岩
田 徳弥委員（自民）、分科副委員長に岩
崎守男委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法等につ
いて協議、決定した。

③ 本分科会の運営については、自民、社
会、道政及び公明各 1 名計 4 名の理事を
選出、その協議により行うことをはかり、
異議なく決定。理事には、和田勝之委
員（自民）、米村邦敏委員（社会）、小
田部善治委員（道政）、工藤啓二委員
（公明）をそれぞれ選出。

④ 分科委員外委員の発言の取扱いにつ
いて、その都度分科会にはかり決定す
ることとした。

⑤ 議席については、異議なく配付の議
席表のとおりとすることに決定。

○ 3 月 24 日（月） 午前 11 時 31 分、第 11 委員会室
において開議、午後 5 時 53 分
散会

第 3 分科委員長

岩田 徳弥（自民）

- ① 労働部所管に対する質疑に入り

吉野 之雄委員（社会）から、

原子力発電所と労働者被曝に関し、原
子力発電所に係る労働行政上の取り
組みと検討経過、放射線の人体影
響に対する認識と許容基準、被曝
者の現状と関係機関の対処状況、
原発に係る道労働行政の基本的
姿勢について

米村 邦敏委員（社会）から、

- (1) 職業病対策に関し、労働災害の
発生状況とその傾向及び道の対
応策、健康診断の実施状況と受
診率向上に対する道の指導助成
の強化、北海道職業病対策協
議会の運営状況と林業振動障
害健診治療推進会議との関
連及び関係機関の対応姿勢、
じん肺症の増

加の原因と道の適確な対処方、サロマ湖地域ホタテ漁業従事者の皮膚炎の把握状況と予防治療対策及び労働災害との関係等

(2) 労働災害補償に関し、労災保険料の負担増の要因と職業病との関連における原因究明及び負担軽減策について国等への要請方、職業病被災者の職場復帰対策等について
柳谷 正一委員（公明）から、

雇用対策に関し、雇用開発委員会の開催状況と具体的な検討内容及び今後の計画内容、中高年齢者の労働力人口の実態把握と雇用対策及び職業訓練のあり方、地方雇用問題協議会の活動状況、当面する雇用の対策について雇用開発委員会で検討することの必要性及び雇用開発委員会の検討結果に対する道の対応姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時35分休憩、午後3時43分再開。

② **林務部所管に対する質疑**に入り、

星野 健三委員（社会）から、

(1) 森林組合に関し、湧別町及び喜茂別町森林組合の現状と再建の見通し、職員、従業員の再就職の実状、道内森林組合の欠損状況と発生原因及び道の指導方策、森林組合監査士制度の趣旨及び活用方策

(2) 道森林組合連合会の再建問題に関し、道森連の経営状況と不良債権額、各単協に対する指導的体質の有無、道森連の再建方策及び経営体質の改善に対する道の指導方策等について

米村 邦敏委員（社会）から、

(1) 森林組合に関し、森林組合の福利厚生の実状及び適確な指導方

(2) 道有林行政に関し、名寄林務署苗畑用地売却の経緯と道有林基本計画及び行政改革との関連、道有林基本計画の収穫、造林事業の現状と今後の見通し及び苗木生産体制に対する考え方、道有林の経営に対する関係市町村、住民の意見反映のあり方、名寄苗畑廃止に伴う作業員の雇用対策、道有林の苗畑事業における作業員の雇用形態と雇用方法の改善の考え等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があっ

て、林務部所管に対する質疑を終結。

○ **3月25日（火）** 午前10時25分、第11委員会室において開議、午後5時52分散会

第3分科委員長

岩田 徳弥（自民）

○ **農務部所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員（共産）からの本分科会への出席及び農務部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することををはかり、異議なく決定の後、

熊谷 克治委員（社会）から、

農業・畜産試験場の統合整備計画に関し、農業の試験研究に対する基本的な考え方、農業試験場の整備計画についての検討経緯、現在の計画内容、今後の計画の進め方及び今回の行政改革との関連、農業試験場整備の基本的方針の性格と職員団体への提示内容との関係及び現場の意見反映の有無、重点集約化の具体案、基本方針に係る新得畜産試験場のあり方、施設老朽化を放置している理由、第2次整備計画と基本方針との関連、整備計画策定の遅延理由と外的要因の有無等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時15分休憩、午後1時35分再開。ついで、

吉野 之雄委員（社会）から、

(1) 原子力発電所と農業に関し、原発と農業の関係についての調査、研究の検討経過と道農務部の基本的な対応姿勢等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁の後、熊谷克治委員（社会）から、的確な答弁方の議事進行発言があって、午後2時9分休憩、午後5時41分再開。農務部長から、休憩前の吉野之雄委員（社会）の質疑に対する答弁の一部訂正後、吉野委員から、答弁訂正に係る資料要求があって、農務部長から発言、議事進行の都合により、午後5時48分休憩、午後5時51分再開し、直ちに散会。

○ **3月26日（水）** 午前10時33分、第11委員会室において開議、午後5時31分散会

第3分科委員長

岩田 徳弥（自民）

○ 農務部所管に対する質疑の続行、

分科委員長から、昨日の吉野之雄委員（社会）の質疑に係わる農務部長の答弁訂正について事実確認がなされた旨を報告の後、

吉野 之雄委員（社会）から、

原子力発電所と農業に関し、原発の農業への影響についての見解と調査、研究の必要性及び今後の取り組み方等

(2) 農業試験場整備に関し、道農業試験場の基本的なあり方、試験研究器材及び施設等の充実強化、研究課題の設定についての考え方及び調整方法、試験研究機関に対する予算の拡充方

(3) 馬鈴しょ原種農場に関し、馬鈴しょ原種農場の廃止に対する基本的な考え方と廃止に係る問題点についての見解及び存続の意思等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時36分休憩、午後1時5分再開。分科委員長から、川崎守第2分科委員（共産）の質疑通告の取下げについて報告の後、

岡本 栄太郎委員（社会）から、

(1) 農業行政に関し、本道農業に対する現状認識、水田総合利用対策協議会を非公開にした理由と考え方、酪農検査所の廃止に係る現地との対応姿勢、北海道農業検討会における検討内容についての見解と検討会に臨む道の姿勢及び今後のあり方、本道農業のスケールメリットについての考え方、農畜産物需給の長期見通しに対する見解、農家負債の実態把握と今後の対策のあり方等

(2) 酪農対策に関し、乳価の算定方式についての見解と今後のあり方、加工原料乳の限度数量等の見通しと乳製品の輸入規制についての取り組み方、畜産振興審議会に対する道の取り組み姿勢、国産チーズについての検討状況と今後の進め方

(3) 農業試験場に係る諸問題に関し、露地野菜についての試験研究の実態と今後の取り組み方、麦の品種改良等に関する試験研究の具体的内容、試験場の整備に係る財政措置方策、整備計画策定の年次変更の理由と

再編整備のあり方

（関連して、笠島 保委員（社会）から、冬野菜の需給対策に関し、野菜基金制度の創設の考え、住宅建築における貯蔵室についての行政指導及び流通対策に取り組むことの必要性等について）

(4) 酪農検査所に関し、廃止についての時期的問題点と行政改革の一環として廃止する理由及び生産者の態度等との関係、道営から民営に移行した場合の酪農検査のあり方及び再考の意思等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があった。農務部所管に対する質疑を終結。

○ 3月27日（木） 午前10時28分、第11委員会室において開議、午後5時41分散会

第3分科委員長

岩田 徳弥（自民）

○ 農地開発部所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員（社会）から、

北海道土地改良事業団体連合会に係る諸問題に関し、道土地連の組織、事業等の概要、道、国の補助並びに委託の実態及び道の指導監督責任、土地改良事業促進協会の概要、性格と道土地連との比較及び両団体の併存に対する道の見解と今後の取扱い、道土地連支部の経理、運営実態と道の見解、釧路管内の監督補助業務の委託に係る問題点、関係市町村への特別負担金の徴収に係る会議の実態とその有効性及び配付文書に対する見解と選挙運動との関連性、道土地連等組織の基本的あり方と道の指導監督の姿勢等について

笠島 保委員（社会）から、

(1) 農業基盤整備事業に係わる農業の根本政策に関し、現在の農業情勢下において農業基盤整備事業を進めることの懸念、わが国の農業と国際経済、食糧事情等の関係についての認識、農政の基本方向、生産性の向上並びに国際競争力を強めるための施策と道の取り組み姿勢、国の食糧自給率に対する道の受けとめ方、国の稲作転作面積の将来目標、減反及び農業経営との関連における圃場整備計画の今後のあり方

(2) 北海道農業検討会に関し、検討会への参画の仕方、検討会における具体的な検討項目と作業日程、本道農業の将来展望に係る検討会のあり方

(3) 農業土木工事に係る諸問題に関し、開発公共事業としての農業基盤整備事業の地域経済への波及効果と計数的測定把握の必要性、農業開発事業の負担特例措置の見通し、55年度事業執行についての国からの繰越し等の指示の有無、工事費単価上昇に伴う事業費の推移と事業量への影響及び今後の見通し、事業推進に伴う農家負担の増高についての見解と対策

(関連して、吉野之雄委員(社会)から、農家負担に係る工事のあり方に関し、融資事業と道営、団体営事業との工事費・地元負担金の比較と道の見解、工事発注に係る請負の実態と工事単価との関連及び分割発注についての考え方、工事設計規模についての見解等について)

(4) 農業と都市計画との土地利用問題に関し、石狩管内などにおける耕地面積の減少理由及び農用地の市街化区域編入との関連、農用地域と市街化区域との調整についての基本的な考え方、土地改良区における運営費、施設維持管理費等の増高に伴う農家負担軽減対策、農業問題の多様化に伴う農務部との指導体制の統一強化の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長及び農地開発部技監から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

○ 3月28日(金) 午前11時41分、第11委員会室において開議、午後6時7分散会
第3分科委員長
岩田 徳弥(自民)

○ 水産部所管に対する質疑に入り、分科委員長から、川崎守第2分科委員(共産)からの本分科会への出席及び水産部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをほかり、異議なく決定の後、

長岡 寅雄委員(社会)から、

(1) ホタテの貝毒、へい死と噴火湾の漁業振興対策に関し、ホタテ貝毒発生の動向、出荷、検査体制と生産海域の見直しに対する地元の要望と道の対処方策、養殖貝と天然貝の取扱いについての見解、津軽海峡海域におけるへい死状況と原因究明等の取り組み方、噴火湾海域の漁業経営指導方向と具体的な取り組み方

(2) 韓国漁船問題に関し、道漁連と韓国漁船との関係についての道の認識と道漁連に対する指導方針、韓国漁船問題の未解決の要因と国の姿勢に対する道の見解、漁業規制に対する我が国と韓国及び西日本漁業関係者の考え方の相違点、問題解決の方策と道の積極的な取り組みの必要性、漁具被害に対する責任の所在と補償についての道の見解

(3) サケ・マス資源対策に関し、ふ化事業河川と今後の利用目標数、ふ化事業河川における河口閉そくの実態と資源への影響及び河川管理所管部との対応状況

(3) 伊達火発の温排水に関し、公害防止協定に係る温排水の温度と水量に対する調査結果と調査の適確性、漁業影響についての報告の有無、ワカメ等の異変現象に対する見解と温排水の影響調査に対する道の考え方及び今後の対応等について

(関連して、関根建二委員(社会)から、温排水の影響調査に関し、温排水拡散温度測定の基本測定点に対する見解、伊達火発の冷却水の量、温度と防止協定内容との関係、深層取水と低層取水の相違点及び知内発電所に係る防止協定との関連等について)

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時43分休憩、午後2時20分再開。ついで、

星野 健三委員(社会)から、

(1) 栽培漁業に関し、サケの増養殖についての計画、計画達成に対する年次別の取り組み、本道のサケ増殖事業の限界点、海區別漁獲割当についての道の基本方針と作業の進め方、サケ・マス以外の栽培漁業の計画

(2) 道漁連問題に関し、道漁連の現在の欠損額とその内訳及び今後の見通し、道漁連役員の責任のとり方、道の再建指導方針、買い取り販売方式の今後の扱い、今回の欠損金の性格と道の基本的な対応姿勢、道条例における卸売人と買受人の兼営の特例規定に係る問題点と今後の市場運営に対する道の指導のあり方、欠損事件容疑者の告訴の見通し等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により、午後3時46分休憩、午後5時再開。分科委員長から、輪島幸雄委員（社会）、中川隆之委員（道政）、柳谷正一委員（公明）及び川崎守第2分科委員（共産）の質疑通告の取下げについて報告の後、

岩崎 守男委員（社会）から、

- (1) 水産試験場の機構改革に関し、水産試験場の今後の方向、本道漁業の今後の展望と関連する水産試験研究体制の考え方及び関係予算増額に対する努力方、今回の機構改革に係る各水試の機能分担についての基本的な考え方、資源と増養殖研究の一体化に対する見解
- (2) 根室開発漁業協同組合に係る漁業の根本的な諸問題に関し、農業との比較における漁業の今後のあり方と漁業の秩序維持に対する見解、水増し船と漁協の加入拒否及びソ連の漁業許可証の賃貸し等の実態と法的问题点、根室開発漁業協同組合の設立不認可の理由と不服審査請求に対する道の対応等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があった。水産部所管に対する質疑を終結。

○3月29日（土） 午前10時38分、第11委員会室において開議、午後5時59分閉会

第3分科委員長

岩田 徳弥（自民）

① 商工観光部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、輪島幸雄委員（社会）、高田忠雄委員（道政）及び川崎守第2分科委員（共産）の質疑通告の取下げについて報告の後、

長岡 寅雄委員（社会）から、

砂利採取に伴う水質汚濁防止対策に関し、渡島管内大野川流域における砂利採取の開始時期、砂利採取法における認可基準と認可した経緯、現行砂利採取の適法性と道の防災対策上の措置の十分性、災害発生に伴う責任の所在、漁業被害の有無、漁業者と砂利採取業者とのトラブルと道の措置状況、災害防止についての道の基本的な指導監督の考え方等について

岩崎 守男委員（社会）から、

北海道地方卸売市場条例に関し、条例制定の経緯、卸売業者と買受人の兼業を認める特例を条例で定めた根拠と卸売市場法の解釈との関連、条例で兼業を認める特例を規定するに至った経緯、道と国との協議経過の提示方等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時20分休憩、午後3時40分再開。商工観光部長から休憩前の岩崎守男委員（社会）に対する答弁の後、引き続き、

岩崎 守男委員（社会）から、

北海道地方卸売市場条例に関し、卸売市場法の卸売業者と買受人の兼業禁止条項の条例上の取扱いについて国と協議の有無、卸売市場法の運用に係る国の指導文書の入手経路、条例の例外規定について国の指導方針が変更された場合の道の対処方針等について

藤井 虎雄委員（社会）から、

- (1) 天北地域の開発に関し、天北地域開発促進に当たっての石炭開発利用に対する見解とその取り組み方、石炭火発建設についての考え方
- (2) 北海道電力に係る諸問題に関し、北電に対する生産者、商社の納炭割合の現状と流通体制の改善に対する考え方、道内炭と外国炭の炭価差に対する北電の考え方と道の受けとめ方、北電の発電設備休止に係る発言の真意、コールセンターに対する北電の対応状況とコールセンターの規模についての道の見解
- (3) 原子力発電に関し、ウラン資源の埋蔵量と原子力エネルギーの寿命との関係、原発の広聴活動のあり方等について

(関連して、吉野之雄委員(社会)から、原子力の推進のあり方に関し、石炭、石油火発と原発のコスト試算に係る国の姿勢と原発コストの計算方法に対する道の見解、石油代替エネルギーとしての原子力の評価と今後の推進方向等について)

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○3月30日(日) 午後1時50分、第1委員会室において開議、午後3時30分閉会
委員長 滝沢 勉(自民)

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、小田原 要四蔵委員(社会)から、
 - (1) 札幌医科大学の動物実験施設の整備計画に関し、新築規模の決定の経過とその適確性、動物実験についての基本的見解と施設整備に対する今後の対応
 - (2) 道財政の中長期の見通しと計画的運営方針の提示方
 - (3) 行政改革に関し、行政改革についての基本的な考え方と今回の出先機関の再編整備案の位置づけ、昭和47年の機構改正及び昭和50年の行財政運営審議委員会設置の背景との関連における今回の再編整備方針の的確性、今回の改革による財政上の効果、全体計画の提示、税務出張所の統合についての結論の出し方、関係市町村との対応のあり方、婦人相談所の手稲向静学園への併置による機能への影響及び婦人行動計画との整合性、ビルド面を含む今後の取り組み方等について

本間 喜代人委員(共産)から、

- (1) 福祉タクシーについての道の取り組み方

- (2) 行政改革に関し、行政改革についてに係る市町村等との対応の仕方と今後の方針、婦人相談所の機能の維持と相談員の意見の尊重方等について

質疑、意見及び要望があり、知事及び総務部長から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午後2時50分休憩、午後3時20分再開。

- ③ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号ないし第18号及び第76号について意見の一致をみるに至らなかった旨及び鈴木誠二委員(社会)ほか17人から、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号及び第15号については、撤回し、組み替えの上、再提出し、議案第76号については撤回されたいとの動議が提出されている旨を報告の後、鈴木誠二委員(社会)から趣旨説明があり、本動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数(自民、道政反対)をもって否決と決定。次に、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号、第15号及び第76号を一括問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第16号ないし第18号を一括問題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第3号、第4号、第6号ないし第11号、第13号、第23号、第67号、第75号、第77号ないし第81号、第83号及び第84号を一括問題とし、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。

次に、鈴木誠二委員(社会)から、議案第1号、第2号、第5号、第12号、第14号、第15号及び第76号に関し、少数意見を留保する旨発言。

- ④ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

資 料

第1回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道減債基金条例	3.24	3.27	北海道条例第1号
北海道危険動物飼養規制条例	3.30	3.31	北海道条例第2号
北海道農業振興審議会条例	同	同	北海道条例第3号
札幌医科大学条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第4号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第5号
北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第6号
北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第7号
北海道立野幌森林公園駐車場条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第8号
北海道身体障害者総合更正援護施設条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第9号
北海道立札幌肢体不自由児総合療育センター使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第10号
北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第11号
北海道立保育専門学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第12号
北海道立病院、療養所及び診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第13号
北海道委託衛生試験条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第14号
北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第15号
北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第16号
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第17号
北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第18号
北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第19号
食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第20号
かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第21号
北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第22号
北海道立工業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第23号
北海道立地下資源調査所手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第24号
北海道立産業共進会場条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第25号
北海道立農業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第26号
北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第27号
北海道職業訓練指導員訓練受講料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第28号
北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第29号
北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第30号

件名	議決月日	公布月日	公布番号
北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例	3.30	3.31	北海道条例第31号
北海道沿岸水域の工事取縮条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第32号
北海道立寒地建築研究所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第33号
北海道立都市公園条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第34号
北海道公営住宅条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第35号
北海道立漁業研修所条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第36号
北海道立水産孵化場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第37号
北海道立水産試験場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第38号
北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第39号
北海道立林産試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第40号
北海道木材業者製材業者合板及び単板業者登録条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第41号
北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第42号
北海道公立高等学校定時制課程及び通信制課程生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第43号
北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第44号
北海道立青年の家条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第45号
北海道立美術館使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第46号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第47号
北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第48号
北海道公安委員会及び方面公安委員会の行なう許可等に関する手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第49号
北海道公営企業条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第50号
北海道からまつ球果集荷等取縮条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第51号
北海道緊急造林奨励条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第52号
北海道水源林野道行造林条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第53号
北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第54号
北海道立体育センター条例	同	同	北海道条例第55号
北海道道税事務所設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第56号
北海道労政事務所設置条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第57号

3 月 の メ モ

- 1日 ○道、出先機関を含む道施設で、4月からリン含有合成洗剤の使用制限を決定。国の出先機関や市町村にも使用自粛を要望。
- 6日 ○早稲田大学商学部で、入学試験問題の事前漏えいが判明。警視庁・戸塚署、関係者4人を逮捕。
- 8日 ○55年度政府予算案、衆院予算委で野党4党の反対で否決の後、本会議で逆転可決。
- 13日 ○衆院本会議、「アフガニスタンからソ連軍の撤退を求める決議と北方領土の解決促進に関する決議」の2件を採択。
- 19日 ○政府、第3次総合物価対策を決定。骨子は、財政金融政策の引き締め強化、電気・ガス料金引き上げに伴う便乗値上げの防止など7項目。
- 30日 ○第1回定例道議会閉会。
○長野県警、長野市の信用金庫女子職員の誘かい事件で富山県の男女を身代金誘かい容疑で逮捕。容疑者の女性は、信金女子職員のほか、富山の女子高校生の殺害も自供。